

市道菖蒲1239号線他下水道管布設工事（交付金）

数量計算書

補助路線

目 次

1. 管渠工（小口径推進、管径 200mm）	
低耐荷力方式 圧入二工程式（スクリュ排土方式）	P-1
薬液注入工	P-3
鋼製さや管ボーリング（一重ケーシング）推進工	P-11
薬液注入工	P-13
2. 立 坑 工	
立坑土工	P-17
鋼製ケーシング立坑工	P-30
3. マンホール工	
3号現場打マンホール工	P-38
1号組立マンホール工	P-40
副管設置工	P-44
4. 付 帯 工	P-46

管 渠 工（小口径推進 管径 200mm）集 計 表
低耐荷力方式 圧入二工程式（スクリュ排土方式）

名 称	種 別	単 位	数 量	備 考
路 線 延 長		m	206.10	
管 体 延 長		m	201.60	
推 進 延 長		m	197.85	平均 39.57m
空 伏 延 長		m	3.75	
管 本 数	推進用硬質塩化ビニル管 φ200			
	SUSカラー 先頭管 L=1.0m	本	5	
"	推進用硬質塩化ビニル管 φ200			
	SUSカラー 標準管 L=1.0m	本	194	
"	推進用硬質塩化ビニル管 φ200			
	SUSカラー 最終管 L=1.0m	本	5	
"	推進工法用可とう継手 φ200			
	鋼製ケーシング立坑用	組	10	
"				
"	既設人孔用	組		
"				
	接着カラー	個		
発 生 土 処 理		m3	7.3	
坑 口	鋼製ケーシング	箇所	10	
"	既設人孔	箇所		
鏡 切	鋼製ケーシング	箇所	10	
推 進 機 等 設 置		箇所	3	
"	方向転換	箇所	2	

管 推 進 工 (V P φ200) 調 書																
低耐荷力方式 圧入二工程式(スクリュ排土方式)																
路 線 番 号		単位	定数値	484		484		486		490		492				合 計
測 点				No.484-1		No.484-2		No.486-1		No.490-1		No.492-1				
				～No.484-2		～No.486-1		～No.490-1		～No.492-1		～No.492-2				
路 線 延 長		m		25.10		40.20		57.70		42.50		40.60				206.10
管 体 延 長		m		24.20		39.30		56.80		41.60		39.70				201.60
推 進 延 長		m		23.45		38.55		56.05		40.85		38.95				197.85
空 伏 延 長		m		上流	下流	上流	下流	上流	下流	上流	下流	上流	下流			3.75
				0.30	0.45	0.45	0.30	0.30	0.45	0.45	0.30	0.30	0.45			
管 材 等	先頭管 φ200	本														5
	SUSカラー L=1.0m			1		1		1		1		1				
	標準管 φ200	本	1.0 m/本													194
	SUSカラー L=1.0m			23		38		55		40		38				
	最終管 φ200	本														5
	SUSカラー L=1.0m			1		1		1		1		1				
	推進工法用可とう継手	組														10
	鋼製ケーシグ [®] 立坑用			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
等	既設人孔用	組														
	立坑内	個														
	接着カラー															
推 進 発 生 土		m3	外径													7.25
推進管断面×推進延長			0.216	0.86		1.41		2.05		1.50		1.43				
推 進 設 備	坑口	箇所														
	鋼矢板立坑															
	小型立坑	箇所		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			10
	既設人孔等	箇所														
	鏡切	箇所														
	鋼矢板立坑															
	鏡切	箇所														
	鋼製ケーシグ [®]			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			10
	推進機等設置	箇所				1				1		1				3
	推進機等設置															
方向転換	箇所		1				1								2	

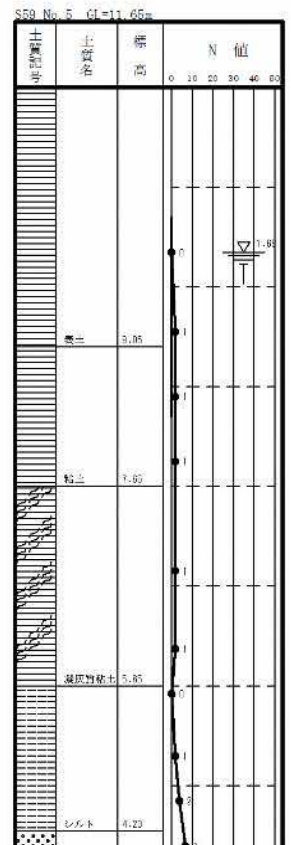
薬 液 注 入 工 集 計 表 (圧入二工程式 スクリュ排土方式)															
立 坑 番 号		No. 484-1		No. 484-2		No. 486-1		No. 490-1		No. 492-1		No. 492-2		合 計	平 均
改 良 位 置			坑口	坑口	坑口	坑口	坑口	坑口	坑口	坑口	坑口	坑口			
			下流	上流	下流	上流	下流	上流	下流	上流	下流	上流			
1本当り 注入量															
	全体		0.660	0.653	0.653	0.660	0.686	0.653	0.653	0.660	0.660	0.653		6.591 KL	0.659 KL
	懸濁型														
	瞬結材		0.660	0.653	0.653	0.660	0.686	0.653	0.653	0.660	0.660	0.653		6.591 KL	0.659 KL
	懸濁型														
	緩結材													KL	KL
削 孔 長															
	粘性土		5.754	5.879	5.899	5.940	5.990	6.043	6.063	6.241	6.291	6.503		60.603 m	6.060 m
	砂質土														
	砂礫土														
注 入 長															
	粘性土		2.716	2.716	2.716	2.716	2.716	2.716	2.716	2.716	2.716	2.716		27.160 m	2.716 m
	砂質土														
	砂礫土														
注 入 本 数			6	6	6	6	5	6	6	6	6	6		59 本	6 本
未造成土被り			3.038	3.163	3.183	3.224	3.274	3.327	3.347	3.525	3.575	3.787		33.443 m	3.344 m
観測井設置 (削孔長) (改良下部)															
	粘性土		5.754	—	5.899	—	5.990	—	6.063	—	6.291	—		29.997 m	5.999 m
	砂質土		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		m	m
	砂礫土		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		m	m
	粘性土		1.000	—	1.000	—	1.000	—	1.000	—	1.000	—		5.000 m	1.000 m
	砂質土		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		m	m

薬液注入工（注入量の計算）圧入二工程式（スクリュ排土方式）													
立坑番号	改良位置	対象土量(m3)					注入率 %	注入量 (kL)	材料別 注入量(kL)		注入 本数	1本当り 注入量	
		土質	N値	対象面積	注入長	V			懸濁型 瞬結材	懸濁型 緩結材		瞬結材 (kL)	緩結材 (kL)
No. 484-1	坑口 下流	粘土	ゆるい	5.21	2.716	14.15	28.0	3.962	1 3.962				
		砂	ゆるい				40.5		1 2.5		6	0.660	
No. 484-2	坑口 上流	粘土	ゆるい	5.15	2.716	13.99	28.0	3.917	1 3.917				
		砂	ゆるい	5.15			40.5		1 2.5		6	0.653	
〃	坑口 下流	粘土	ゆるい	5.15	2.716	13.99	28.0	3.917	1 3.917				
		砂	ゆるい	5.15			40.5		1 2.5		6	0.653	
No. 486-1	坑口 上流	粘土	ゆるい	5.21	2.716	14.15	28.0	3.962	1 3.962				
		砂	ゆるい	5.21			40.5		1 2.5		6	0.660	
〃	坑口 下流	粘土	ゆるい	4.51	2.716	12.25	28.0	3.430	1 3.430				
		砂	ゆるい	4.51			40.5		1 2.5		5	0.686	
No. 490-1	坑口 上流	粘土	ゆるい	5.15	2.716	13.99	28.0	3.917	1 3.917				
		砂	ゆるい	5.15			40.5		1 2.5		6	0.653	
〃	坑口 下流	粘土	ゆるい	5.15	2.716	13.99	28.0	3.917	1 3.917				
		砂	ゆるい	5.15			40.5		1 2.5		6	0.653	
No. 492-1	坑口 上流	粘土	ゆるい	5.21	2.716	14.15	28.0	3.962	1 3.962				
		砂	ゆるい	5.21			40.5		1 2.5		6	0.660	
〃	坑口 下流	粘土	ゆるい	5.21	2.716	14.15	28.0	3.962	1 3.962				
		砂	ゆるい	5.21			40.5		1 2.5		6	0.660	
No. 492-2	坑口 上流	粘土	ゆるい	5.15	2.716	13.99	28.0	3.917	1 3.917				
		砂	ゆるい	5.15			40.5		1 2.5		6	0.653	

表－1 二重管ストレーナー工法注入率表（複相方式） ー下歩(参考)P18ー

土 質	N値		間隙率 ρ (%)	注入充填率 α (%)	注入率 (%)	瞬結材：緩結材	適 用
粘性土	ゆるい～中 位	0～4	70	40	28.0	1：0	目的(止水・地盤強化)により選定する。
	中 位～締った	4～8	60	40	24.0	1：1	
砂質土	ゆるい～中 位	0～30	45	90	40.5	1：1～2	ゆるい N値 0～10
	中 位～締った	30以上	35	90	31.5	1：2～3	中 位 N値 10～30
						1：3～4	締った N値 30～
砂礫土	ゆるい～中 位	0～50	40	90	36.0	1：0.5	細粒分が少ない場合
	中 位～締った	50以上	35	90	31.5	1：1～2	細粒分が多い場合又は止水を目的とする場合

略



計 算 書

注入面積計算 坑口上流

$$= \frac{m^2}{2}$$

注入面積計算 坑口下流

$$2.216 \times (2.000 + 0.750)$$

$$-1.500^2 \times \pi / 4 \times 1/2$$

$$= 5.21 \text{ m}^2$$

削孔長計算書

土 質		削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土					
砂質土					
粘性土					
砂質土					
合 計					

削孔長計算書

土 質		削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土		11.650	5.896	5.754	
砂質土					
粘性土					
砂質土					
合 計				5.754	

注入長計算書

土 質		削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土					
砂質土					
粘性土					
砂質土					
合 計					

注入長計算書

土 質		注入上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土		8.612	5.896	2.716	
砂質土					
粘性土					
砂質土					
合 計				2.716	

未造成土被り

地盤高	注入上部高	土被り(m)

注入本数

1m ² /本

未造成土被り

地盤高	注入上部高	土被り(m)
11.650	8.612	3.038

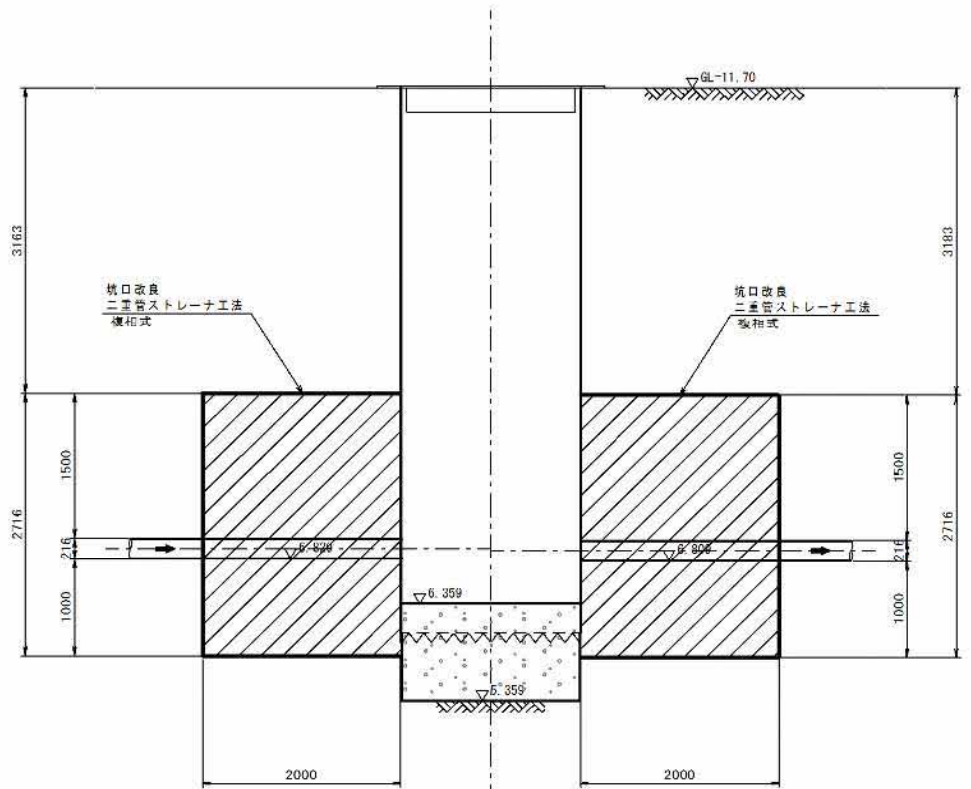
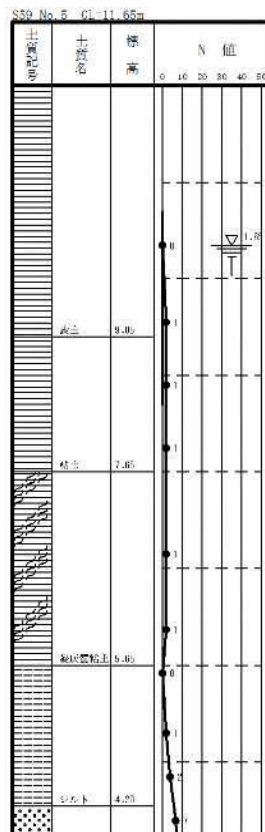
注入本数

1m2/本
6

薬液注入工 (No.484-2 両発進立坑)

略

図



計 算 書

注入面積計算 坑口上流

$$2.216 \times (2.000 + 0.900) - 1.800^2 \times \pi / 4 \times 1/2 = 5.15 \text{ m}^2$$

注入面積計算 坑口下流

$$2.216 \times (2.000 + 0.900) - 1.800^2 \times \pi / 4 \times 1/2 = 5.15 \text{ m}^2$$

削孔長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	11.700	5.821	5.879	
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計			5.879	

削孔長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	11.700	5.801	5.899	
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計			5.899	

注入長計算書

土 質	注入上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	8.537	5.821	2.716	
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計			2.716	

注入長計算書

土 質	注入上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	8.517	5.801	2.716	
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計			2.716	

未造成土被り

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)
11.700	8.537	3.163

注入本数

1m2/本
6

未造成土被り

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)
11.700	8.517	3.183

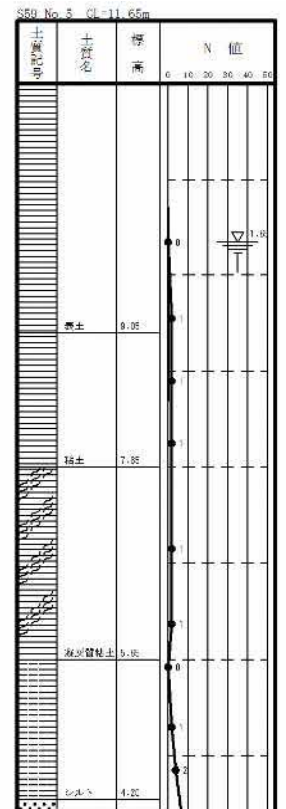
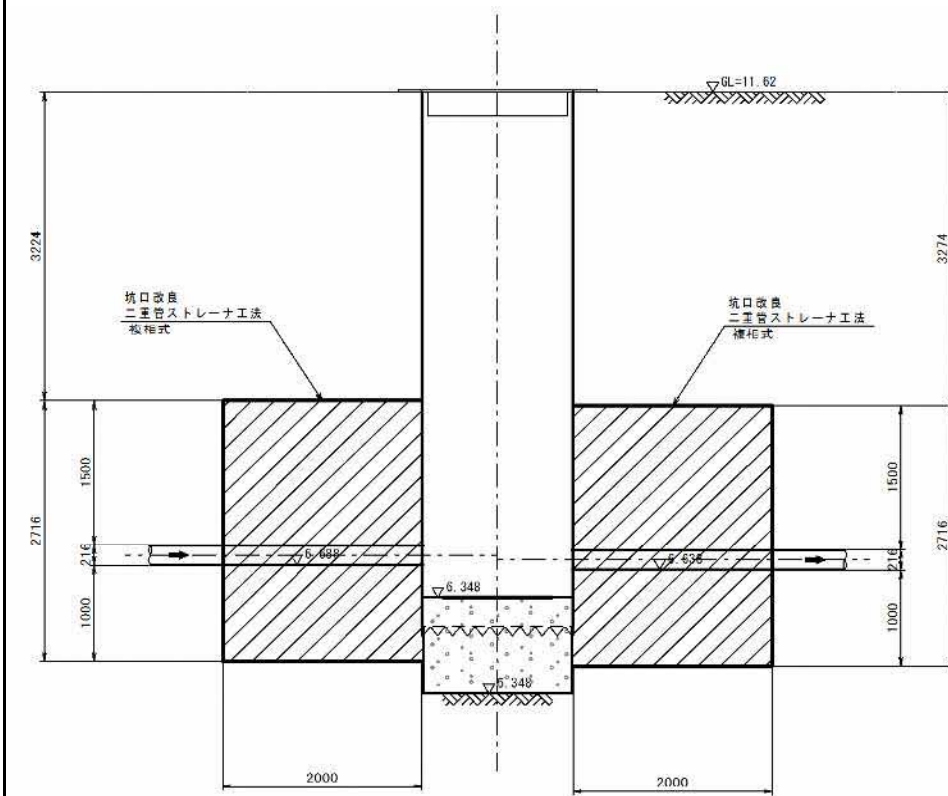
注入本数

1m2/本
6

薬液注入工 (No.486-1 両到達立坑)

略

図



計 算 書

注入面積計算 坑口上流

$$2.216 \times (2.000 + 0.750) - 1.500^2 \times \pi / 4 \times 1/2 = 5.21 \text{ m}^2$$

削孔長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	11.620	5.680	5.940	
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計			5.940	

注入長計算書

土 質	注入上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	8.396	5.680	2.716	
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計			2.716	

未造成土被り

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)
11.620	8.396	3.224

注入本数

1m2/本
6

注入面積計算 坑口下流

$$2.216 \times (2.000 + 0.750) - 1.500^2 \times \pi / 4 \times 1/2 - 0.700 = 4.51 \text{ m}^2$$

削孔長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	11.620	5.630	5.990	
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計			5.990	

注入長計算書

土 質	注入上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	8.346	5.630	2.716	
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計			2.716	

未造成土被り

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)
11.620	8.346	3.274

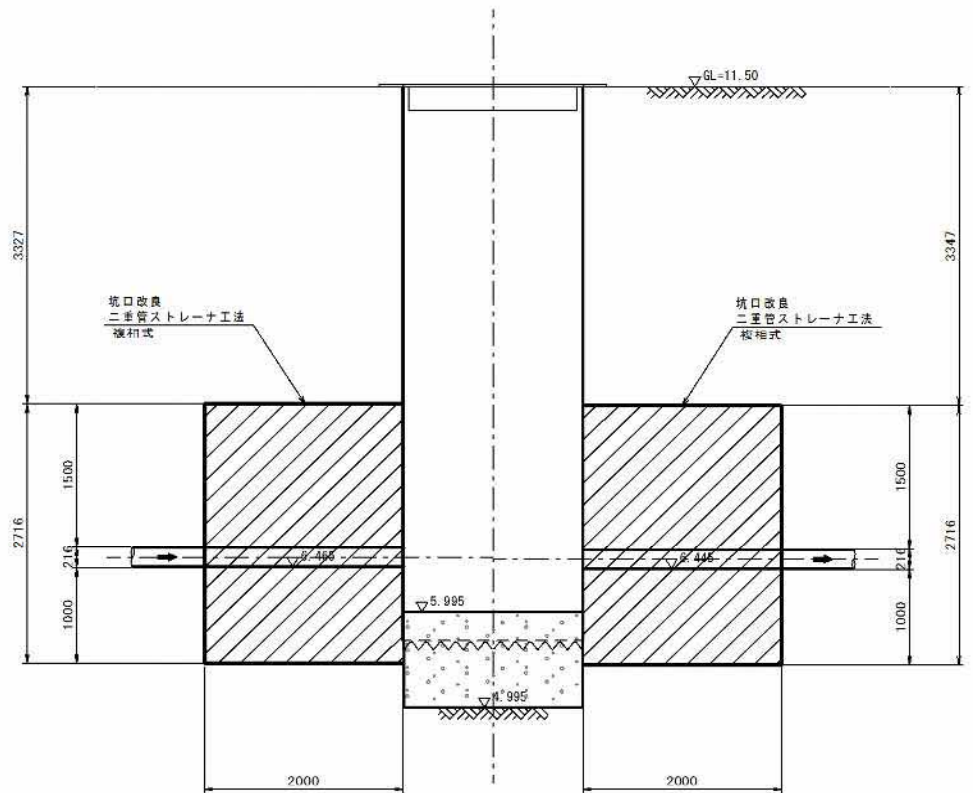
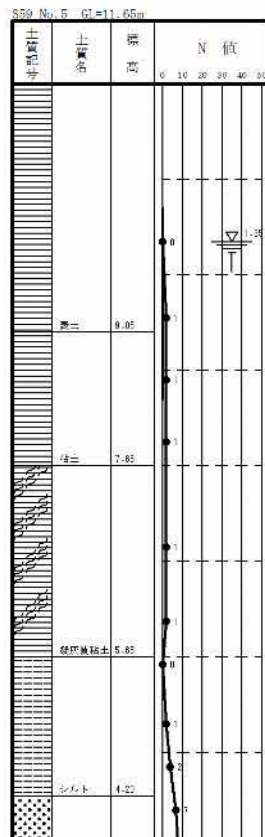
注入本数

1m2/本
5

薬液注入工 (No.490-1 両発進立坑)

略

図



計 算 書

注入面積計算 坑口上流

$$2.216 \times (2.000 + 0.900) - 1.800^2 \times \pi / 4 \times 1/2 = 5.15 \text{ m}^2$$

注入面積計算 坑口下流

$$2.216 \times (2.000 + 0.900) - 1.800^2 \times \pi / 4 \times 1/2 = 5.15 \text{ m}^2$$

削孔長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	11.500	5.457	6.043	
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計			6.043	

削孔長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	11.500	5.437	6.063	
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計			6.063	

注入長計算書

土 質	注入上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	8.173	5.457	2.716	
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計			2.716	

注入長計算書

土 質	注入上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	8.153	5.437	2.716	
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計			2.716	

未造成土被り

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)
11.500	8.173	3.327

注入本数

1m2/本
6

未造成土被り

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)
11.500	8.153	3.347

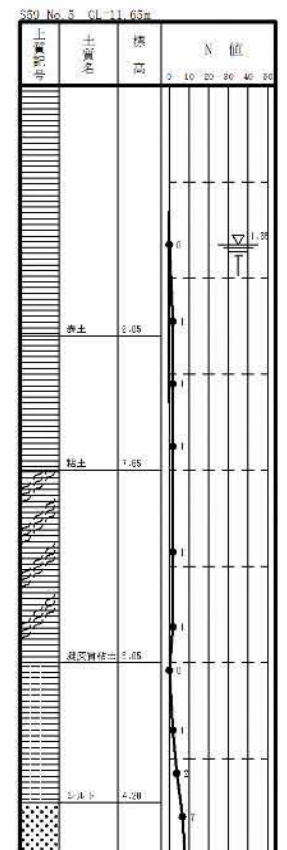
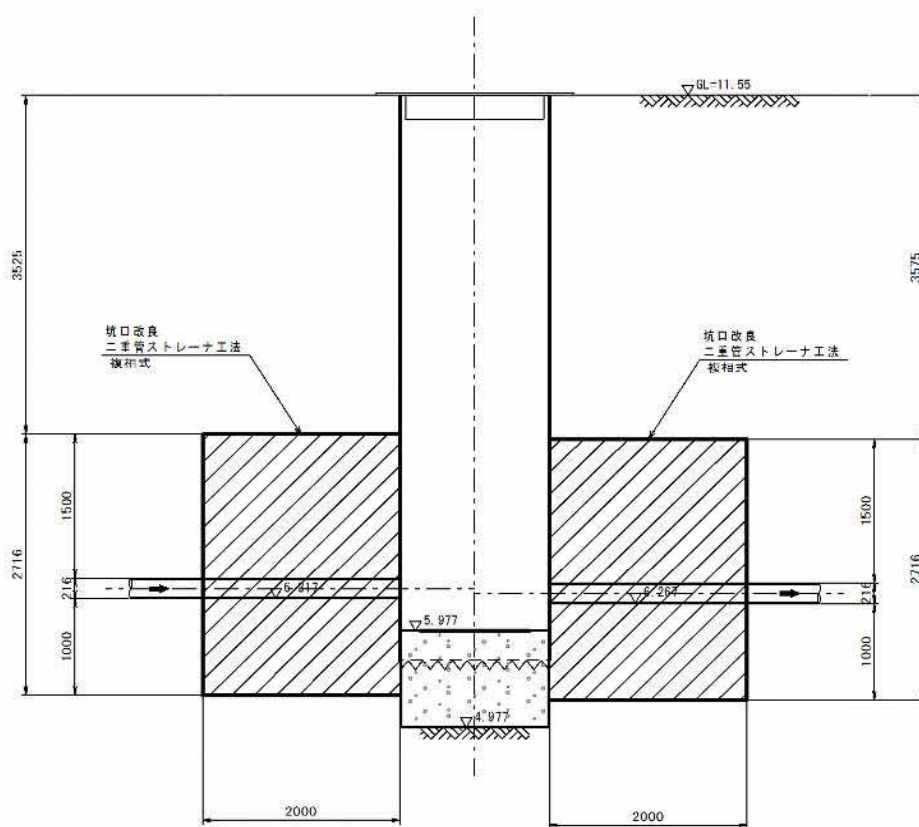
注入本数

1m2/本
6

薬液注入工 (No.492-1 両到達立坑)

略

図



計 算 書

注入面積計算 坑口上流

$$2.216 \times (2.000 + 0.750) - 1.500^2 \times \pi / 4 \times 1/2 = 5.21 \text{ m}^2$$

注入面積計算 坑口下流

$$2.216 \times (2.000 + 0.750) - 1.500^2 \times \pi / 4 \times 1/2 = 5.21 \text{ m}^2$$

削孔長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	11.550	5.309	6.241	
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計			6.241	

削孔長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	11.550	5.259	6.291	
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計			6.291	

注入長計算書

土 質	注入上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	8.025	5.309	2.716	
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計			2.716	

注入長計算書

土 質	注入上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	7.975	5.259	2.716	
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計			2.716	

未造成土被り

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)
11.550	8.025	3.525

注入本数

1m2/本
6

未造成土被り

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)
11.550	7.975	3.575

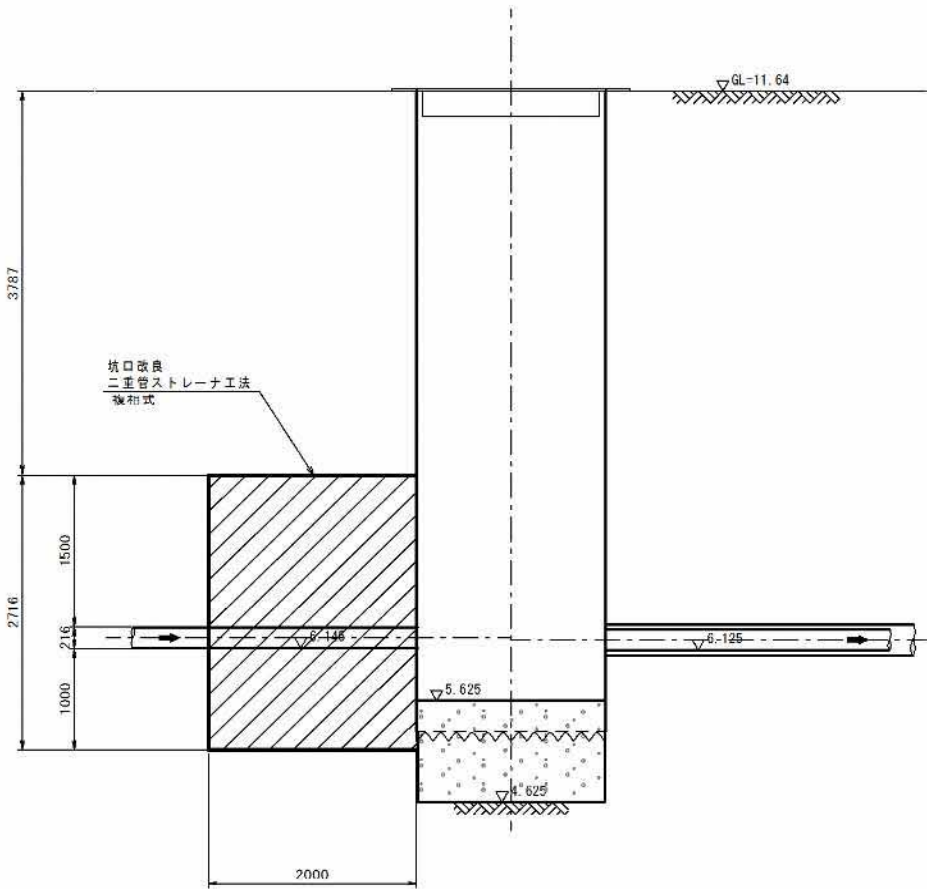
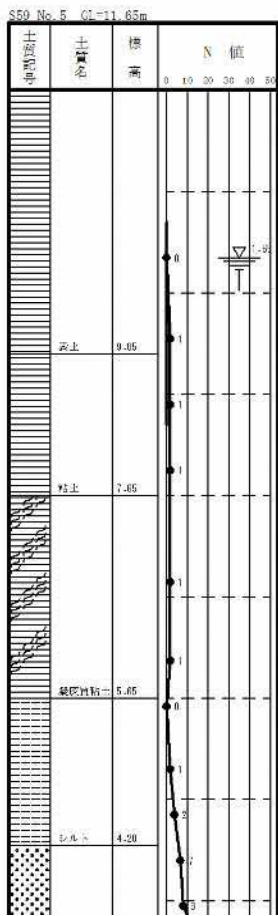
注入本数

1m2/本
6

薬液注入工 (No.492-2 発進立坑)

略

図



計 算 書

注入面積計算 坑口上流

注入面積計算 坑口下流

$$2.216 \times (2.000 + 0.900) - 1.800^2 \times \pi / 4 \times 1/2$$

$$= 5.15 \text{ m}^2$$

$$= \text{ } \text{m}^2$$

削孔長計算書

削孔長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	11.640	5.137	6.503	
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計			6.503	

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土				
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計				

注入長計算書

注入長計算書

土 質	注入上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	7.853	5.137	2.716	
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計			2.716	

土 質	注入上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土				
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計				

未造成土被り

注入本数

未造成土被り

注入本数

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)
11.640	7.853	3.787

1m2/本
6

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)

1m2/本

管 渠 工（小口径推進 管径 200mm）集 計 表
鋼製さや管ボーリング（一重ケーシング）推進工

名 称	種 別	単 位	数 量	備 考
路 線 延 長		m	9.60	
管 体 延 長		m	8.40	
推 進 延 長		m	7.95	
空 伏 延 長		m	0.45	塩ビ管挿入工に含む
鋼 管	φ 300	m	7.95	
〃	鋼製さや管呼び径 φ 300 ネジ切り加工 L=1.0m	m	7.95	
管 本 数	硬質塩化ビニル管VU φ 200 プレーンエンド直管 L=4.0m	m	8.40	
〃	接着カラー	個	2	
〃	推進工法用可とう継手 φ 200 鋼製ケーシング立坑用	組	1	
〃	推進工法用可とう継手 φ 200 既設人孔用	組	1	
中 詰 注 入 工	モルタル充填	m ³	0.27	
ス ペ ー サ ー	φ 300-200	個	4	
発 生 土 処 理		m ³	0.6	
坑 口	鋼製ケーシング	箇所	1	
〃	既設人孔	箇所	1	
鏡 切	鋼製ケーシング	箇所	1	
推 進 機 等 設 置		箇所	1	
〃	方向転換	箇所		

管 推 進 工 (VUφ200) 調 書
鋼製さや管ボーリング(一重ケーシング)推進工

路 線 番 号		単位	定数値	492										合 計		
測 点				No.492-2												
				～既No.15-1												
路 線 延 長		m														
				9.60								9.60				
管 体 延 長		m														
				8.40								8.40				
推 進 延 長		m														
				7.95								7.95				
空 伏 延 長		m		上流	下流											
				0.45	－										0.45	
管 材 料 等	鋼管 φ300	m														
				7.95								7.95				
	硬質塩化ビニル管 VUφ200	m														
				8.40								8.40				
	接着カラー	個														
				2								2				
	推進工法用可とう継手 鋼製ケーシング立坑用	組														
				1										1		
	既設人孔用	組														
				1									1			
モルタル充填	m3	0.034 m2/m														
			0.27								0.27					
スペーサー φ300-200	個	1個/2m														
			4								4					
推 進 発 生 土 鋼製さや管断面×推進延長		m3	外径 0.318													
				0.63								0.63				
推 進 設 備	坑口 鋼矢板立坑	箇所														
	小型立坑	箇所														
				1									1			
	既設人孔等	箇所														
				1								1				
	鏡切 鋼矢板立坑	箇所														
	鋼製ケーシング	箇所														
1											1					
推進機等設置	箇所															
			1								1					
推進機等設置 方向転換	箇所															

薬液注入工集計表（鋼製鞘管推進）											
立坑番号		No.492-2 発進	既No.15-1 到達							合 計	平 均
改良位置		坑口	坑口								
		下流	上流								
1本当り 注入量	全体	0.717	0.708							1.425 KL	0.713 KL
	懸濁型										
	瞬結材	0.717	0.708							1.425 KL	0.713 KL
	懸濁型										
	緩結材									KL	KL
削孔長											
	粘性土	6.574	6.533							13.107 m	6.554 m
	砂質土										
	砂礫土										
注 入 長											
	粘性土	2.818	2.818							5.636 m	1.879 m
	砂質土										
	砂礫土										
注 入 本 数											
		6	6							12 本	6 本
未造成土被り											
		3.756	3.715							7.471 m	3.736 m
観測井設置 （削孔長） （改良下部）	粘性土	6.574	—							6.574 m	6.574 m
	砂質土	—	—							m	m
	砂礫土	—	—							m	m
	粘性土	—	—							m	m
	砂質土	1.000	—							1.000 m	1.000 m

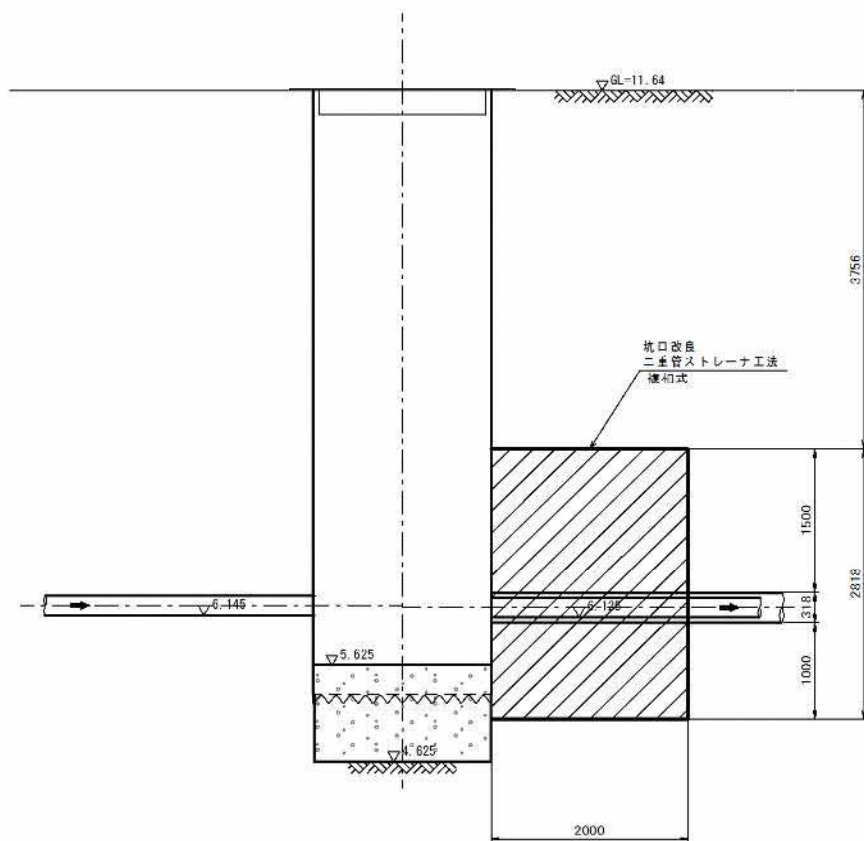
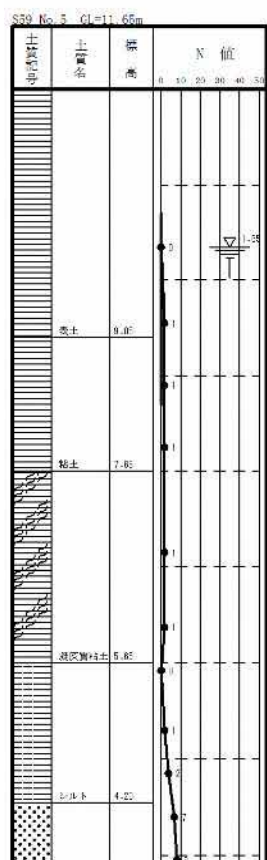
[illegible]

土 質	N値		間隙率 ρ (%)	注入充填率 α (%)	注入率 (%)	瞬結材：緩結材	適 用
粘性土	ゆるい～中 位	0～4	70	40	28.0	1 : 0	目的(止水・地盤強化)により選定する。
	中 位～締った	4～8	60	40	24.0	1 : 1	
砂質土	ゆるい～中 位	0～30	45	90	40.5	1 : 1～2	ゆるい N値 0～10
	中 位～締った	30以上	35	90	31.5	1 : 2～3	中 位 N値 10～30
						1 : 3～4	締った N値 30～
砂礫土	ゆるい～中 位	0～50	40	90	36.0	1 : 0.5	細粒分が少ない場合
	中 位～締った	50以上	35	90	31.5	1 : 1～2	細粒分が多い場合又は止水を目的とする場合

薬液注入工 (No.492-2 発進人孔)

略

図



計 算 書

注入面積計算 坑口下流

$$= \underline{\hspace{2cm}} \text{ m}^2$$

注入面積計算 坑口下流

$$2.318 \times (2.000 + 0.900) - 1.800^2 \times \pi / 4 \times 1/2 = \underline{5.45} \text{ m}^2$$

削孔長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部高	粘性土	砂質土
粘性土				
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計				

削孔長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部高	粘性土	砂質土
粘性土	11.640	5.066	6.574	
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計			6.574	

注入長計算書

土 質	注入上部高	削孔底部高	粘性土	砂質土
粘性土				
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計				

注入長計算書

土 質	注入上部高	削孔底部高	粘性土	砂質土
粘性土	7.884	5.066	2.818	
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計			2.818	

未造成土被り

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)

注入本数

1m2/本

未造成土被り

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)
11.640	7.884	3.756

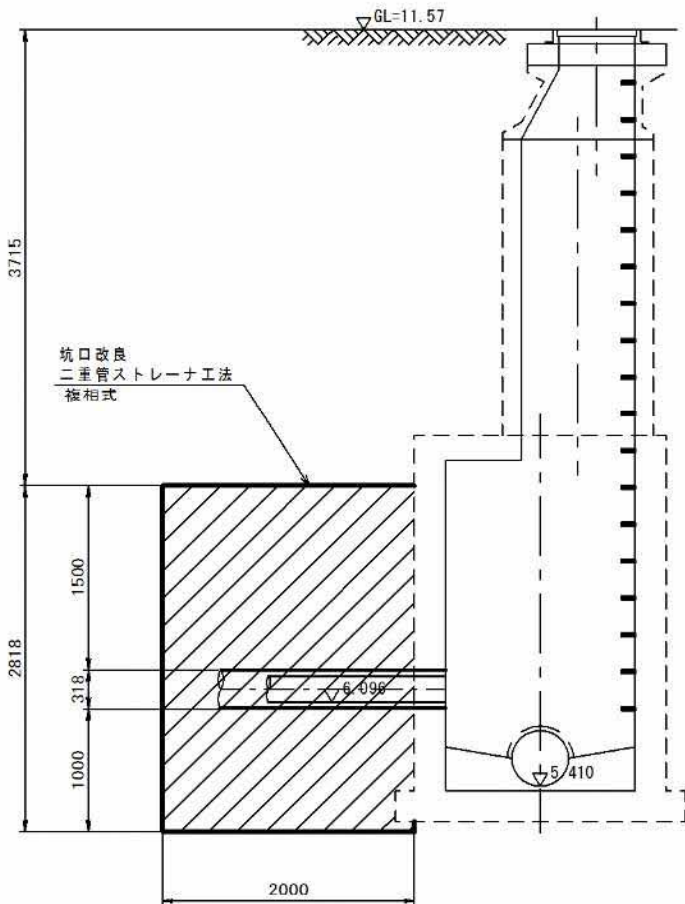
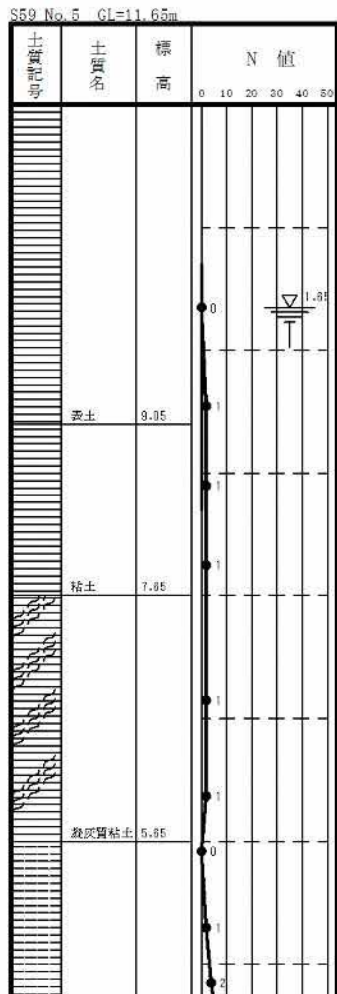
注入本数

1m2/本
6

薬液注入工（既No.15-1 到達立坑）

略

図



計 算 書

注入面積計算 坑口上流

$$2.318 \times (2.000 + 1.000)$$

$$- 2.000^2 \times \pi / 4 \times 1/2$$

$$= 5.38 \text{ m}^2$$

注入面積計算 坑口下流

$$= \text{m}^2$$

削孔長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	11.570	5.037	6.533	
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計			6.533	

削孔長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土				
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計				

注入長計算書

土 質	注入上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	7.855	5.037	2.818	
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計			2.818	

注入長計算書

土 質	注入上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土				
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計				

未造成土被り

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)
11.570	7.855	3.715

注入本数

1m2/本
6

未造成土被り

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)

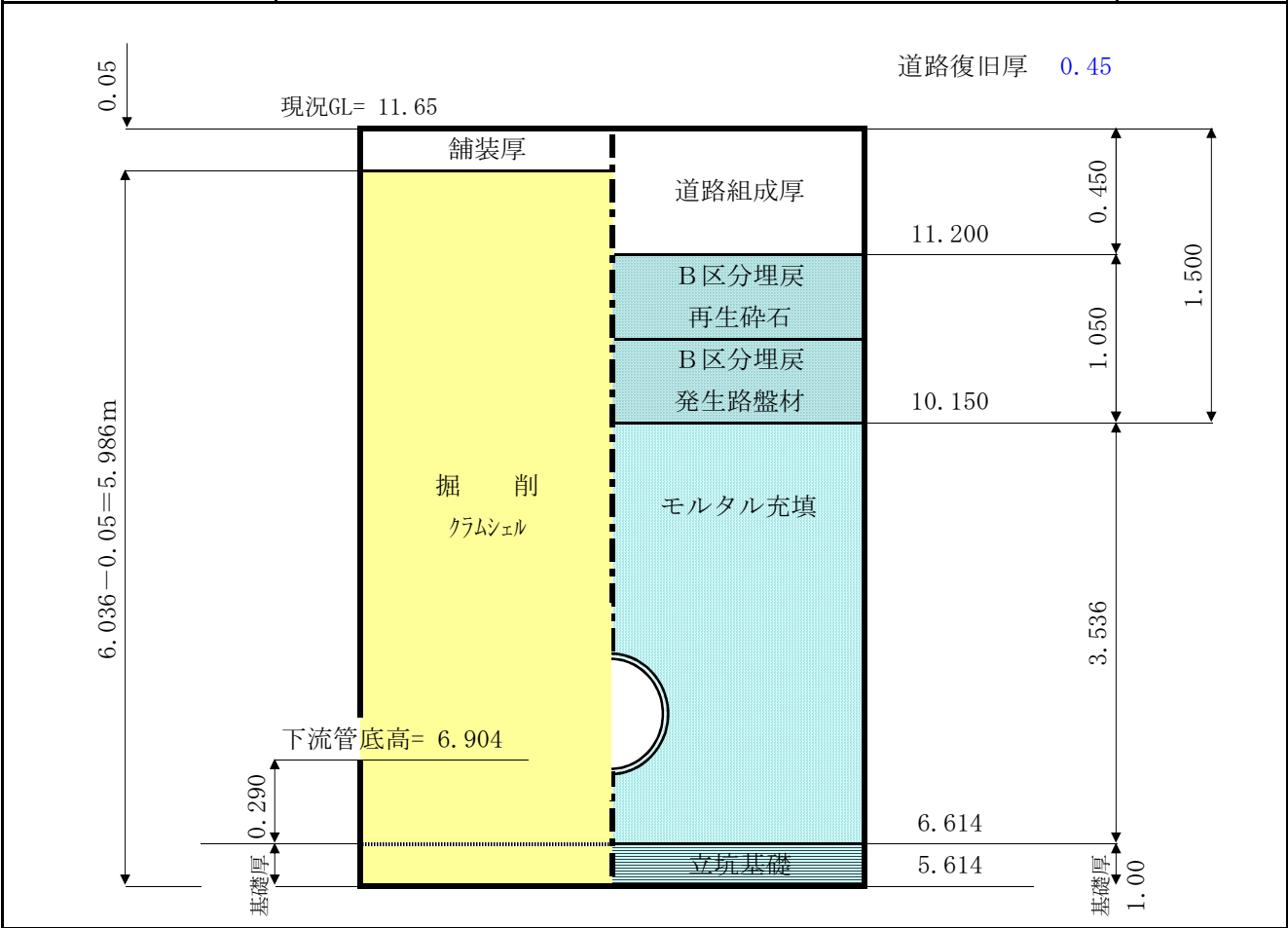
注入本数

1m2/本

立 坑 工 (立坑土工) 集 計 表											
名 称		単位	定数値	No. 484-1	No. 484-2	No. 486-1	No. 490-1	No. 492-1	No. 492-2		合 計
				両到達	両発進	両到達	両発進	両到達	両発進		
				φ 1500	φ 1800	φ 1500	φ 1800	φ 1500	φ 1800		
機 械 掘 削 工	機械掘削工 バックホウ 0.60m3	m3									
				—	—	—	—	—	—		
	バックホウ 0.35m3	m3									
				—	—	—	—	—	—		
	圧入掘削工 クラムシェル 0.60m3	m3									
				—	—	—	—	—	—		
	クラムシェル 0.40m3	m3		—	16.42	—	16.85	—	18.18		51.5
	クラムシェル 0.20m3	m3		10.89	—	11.32	—	11.87	—		34.1
埋 戻 工	B区分埋戻工 再生砕石	m3									
				0.42	—	0.36	—	0.36	—		1.1
	埋戻工 モルタル充填	m3									
				3.18	—	3.39	—	3.50	—		10.1
	B区分埋戻工 再生砕石	m3									
				—	0.86	—	0.89	—	0.87		2.6
	埋戻工 モルタル充填	m3									
				—	6.39	—	6.50	—	7.35		20.2
発 生 土 処 理	ケーシング立坑 4tダンプ	m3									
				—	15.30	—	15.70	—	17.00		48.0
	ケーシング立坑 4tダンプ	m3									
				10.10	—	10.50	—	11.10	—		31.7
	コンクリート製立坑 4tダンプ	m3									
				—	—	—	—	—	—		
舗 装 撤 去 工	舗装切断工 15cm以下	m									
				4.79	5.73	4.79	5.73	4.79	5.73		31.6
	30cm以下	m									
				—	—	—	—	—	—		
	濁水運搬処理工 アスファルト	m3									
				0.006	0.007	0.006	0.007	0.006	0.007		0.039
	舗装版破碎工 15cm以下	m2									
				1.82	2.61	1.82	2.61	1.82	2.61		13.3
	35cm以下	m2									
				—	—	—	—	—	—		
	As廃材処理	m3									
				0.09	0.13	0.09	0.13	0.09	0.13		0.7
道 路 復 旧 工	市道										
	仮復旧	m2									
				1.29	2.08	1.29	2.08	1.29	2.08		10.1

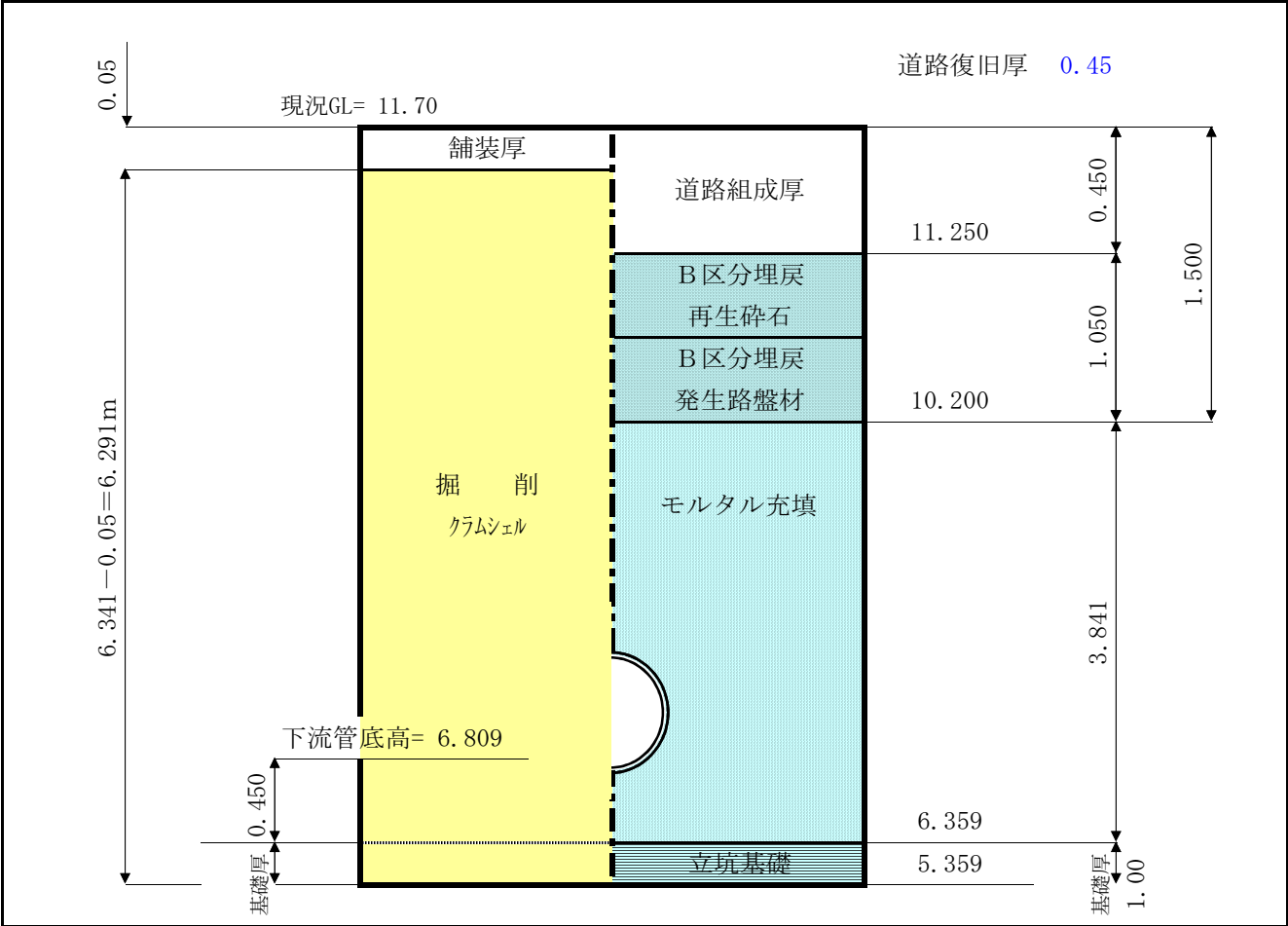
立 坑 No. 484-1 (本管 φ 200 両到達立坑 φ 1500) 土 工 調 書			1/2
工 種	計 算 式	数 量	
鋼製ケーシング立坑深	地盤高－管底高＋余裕高・機械高		
	$11.65 - 6.904 + 0.290 =$	5.036 m	
掘 削 深	立坑深＋基礎厚		
	$5.036 + 1.00 =$	6.036 m	
覆 工 面 積			
	m2		
立 坑 面 積	外径 $1.524^2 \times \pi / 4 =$	1.82 m2	
	内径 $1.50^2 \times \pi / 4 =$	1.77 m2	
機 械 掘 削			
一次掘削 バックホウ0.35m3	一次掘削	m3	— m3
立坑掘削 クラムシェル0.20m3	立坑部 $1.82 \times (6.036 - 0.05) =$	10.89 m3	10.89 m3
モルタル充填			
	埋戻高(土工図より)	3.536 m	
	全体 $1.77 \times 3.536 =$	6.26 m3	
	控除		
	底板等 $1.100^2 \times \pi / 4 \times (0.13 + 0.000) =$	-0.12 m3	
	直壁等 $1.050^2 \times \pi / 4 \times (3.536 - 0.130 - 0.000) =$	-2.95 m3	
	推進管		
	下流管 $0.216^2 \times \pi / 4 \times 0.225 =$	-0.01 m3	
	計 3.18 m3	3.18 m3	
埋戻(B区分 再生砕石)			
	埋戻高(土工図より)	1.050 m	
	全体 $1.82 \times 1.050 =$	1.91 m3	
	直壁等 $1.050^2 \times \pi / 4 \times 0.194 =$	-0.17 m3	
	斜壁等 $0.935^2 \times \pi / 4 \times (1.050 - 0.194) =$	-0.59 m3	
	発生路盤材	-0.73 m3	
	計 0.42 m3	0.42 m3	

立 坑 No. 484-1 (本管 φ 200 両到達立坑 φ 1500) 土 工 調 書			2/2
工 種	計 算 式	数 量	
埋戻 (B区分 発生路盤材)	発生路盤材量 $1.82 \times 0.400 =$ 0.73 m^3	0.7 m ³	
発 生 土 処 理	掘削土量－発生路盤材量×1.11		
	$(0.00 + 10.89) - 0.73 \times 1.11 =$	10.1 m ³	
舗装撤去工			
舗装切断工 15cm以下	$1.524 \times \pi =$	4.79 m	
濁水運搬処理工 As 5cm	$4.79 \times 0.130 \text{ m}^3 / 100 \text{ m} =$	0.006 m ³	
舗装版破碎工 15cm以下	$1.524^2 \times \pi / 4 =$	1.82 m ²	
アスコン廃材処理工	$1.82 \times 0.05 =$	0.09 m ³	
道路復旧工 市道 45cm	$1.82 - 0.820^2 \times \pi / 4 =$	1.29 m ²	



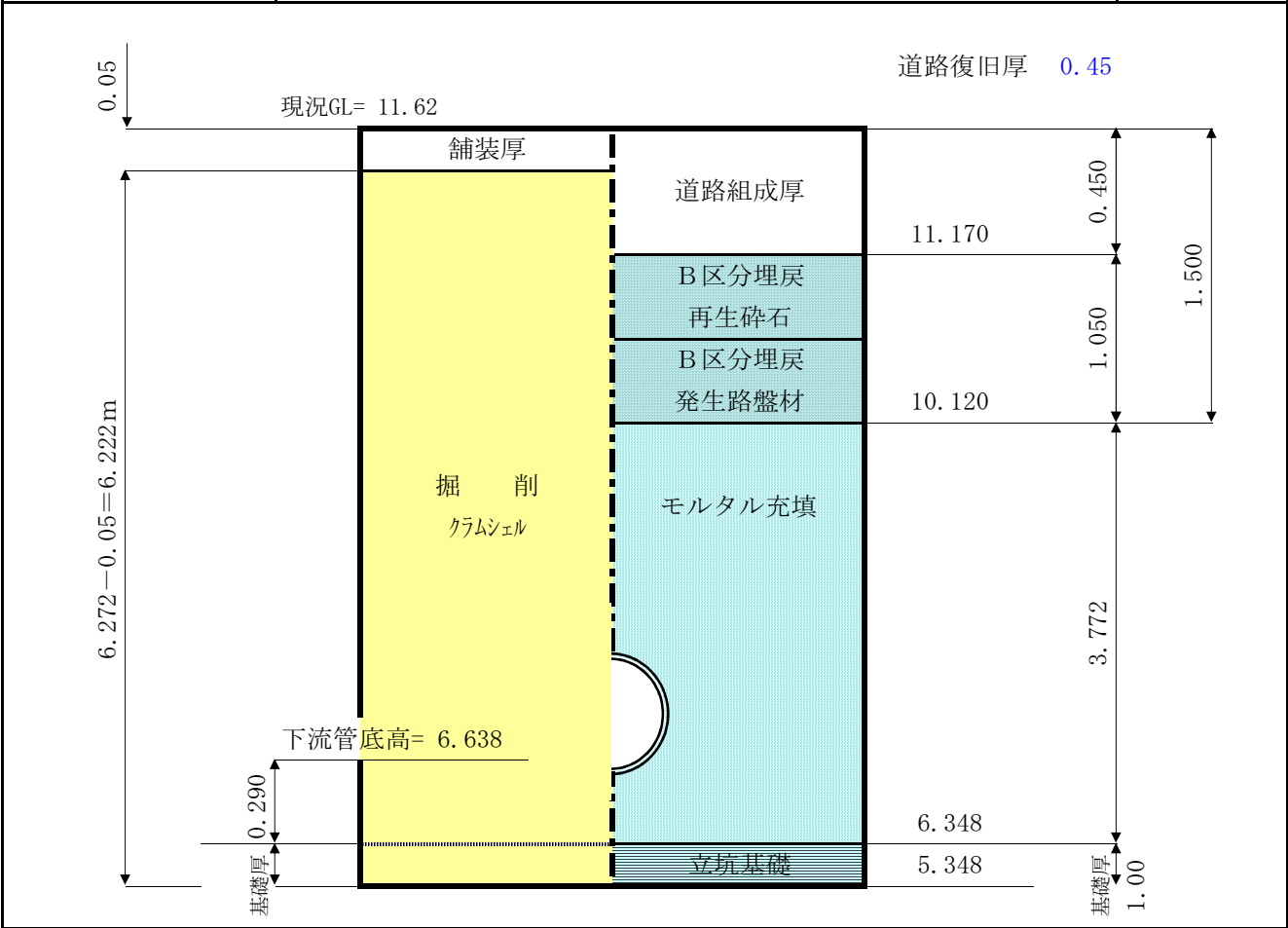
立 坑 No. 484-2 (本管 φ 200 両発進立坑 φ 1800) 土 工 調 書			1/2
工 種	計 算 式	数 量	
鋼製ケーシング立坑深	地盤高－管底高＋余裕高・機械高		
	$11.70 - 6.809 + 0.450 =$	5.341 m	
掘 削 深	立坑深＋基礎厚		
	$5.341 + 1.00 =$	6.341 m	
覆 工 面 積			
	m2		
立 坑 面 積	外径 $1.824^2 \times \pi / 4 =$	2.61 m2	
	内径 $1.80^2 \times \pi / 4 =$	2.54 m2	
機 械 掘 削			
一次掘削 バックホウ0.35m3	一次掘削	m3	— m3
立坑掘削 クラムシェル0.40m3	立坑部 $2.61 \times (6.341 - 0.05) =$	16.42 m3	16.42 m3
モルタル充填	埋戻高(土工図より)	3.841 m	
	全体 $2.54 \times 3.841 =$	9.76 m3	
	控除		
	底版等 $1.100^2 \times \pi / 4 \times (0.13 + 0.160) =$	-0.28 m3	
	直壁等 $1.050^2 \times \pi / 4 \times (3.841 - 0.130 - 0.160) =$	-3.07 m3	
	推進管		
	上流管 $0.216^2 \times \pi / 4 \times 0.225 =$	-0.01 m3	
	推進管		
	下流管 $0.216^2 \times \pi / 4 \times 0.225 =$	-0.01 m3	
	計	6.39 m3	6.39 m3
埋戻(B区分 再生砕石)	埋戻高(土工図より)	1.050 m	
	全体 $2.61 \times 1.050 =$	2.74 m3	
	直壁等 $1.050^2 \times \pi / 4 \times 0.649 =$	-0.56 m3	
	斜壁等 $0.935^2 \times \pi / 4 \times (1.050 - 0.649) =$	-0.28 m3	
	発生路盤材	-1.04 m3	
	計	0.86 m3	0.86 m3

立 坑 No. 484-2 (本管 φ 200 両発進立坑 φ 1800) 土 工 調 書			2/2
工 種	計 算 式	数 量	
埋戻 (B区分 発生路盤材)	発生路盤材量 $2.61 \times 0.400 =$ 1.04 m^3	1.0 m ³	
発 生 土 処 理	掘削土量－発生路盤材量×1.11		
	$(0.00 + 16.42) - 1.04 \times 1.11 =$	15.3 m ³	
舗装撤去工			
舗装切断工 15cm以下	$1.824 \times \pi =$	5.73 m	
濁水運搬処理工 As 5cm	$5.73 \times 0.130 \text{ m}^3 / 100 \text{ m} =$	0.007 m ³	
舗装版破碎工 15cm以下	$1.824^2 \times \pi / 4 =$	2.61 m ²	
アスコン廃材処理工	$2.61 \times 0.05 =$	0.13 m ³	
道路復旧工 市道 45cm	$2.61 - 0.820^2 \times \pi / 4 =$	2.08 m ²	



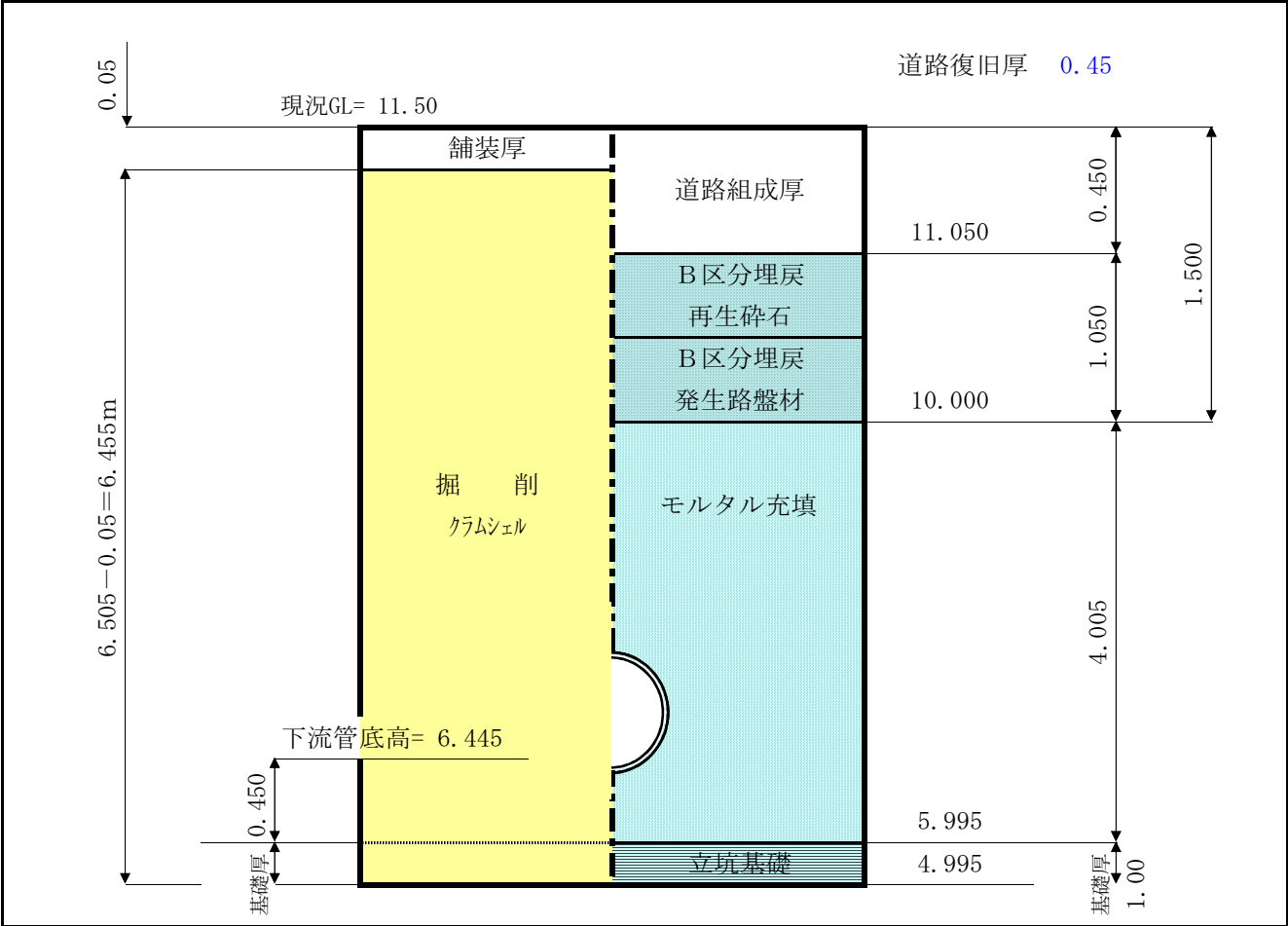
立 坑 No. 486-1 (本管 φ 200 両到達立坑 φ 1500) 土 工 調 書			1/2
工 種	計 算 式	数 量	
鋼製ケーシング立坑深	地盤高－管底高＋余裕高・機械高		
	$11.62 - 6.638 + 0.290 =$	5.272 m	
掘 削 深	立坑深＋基礎厚		
	$5.272 + 1.00 =$	6.272 m	
覆 工 面 積			
	m2		
立 坑 面 積	外径 $1.524^2 \times \pi / 4 =$	1.82 m2	
	内径 $1.50^2 \times \pi / 4 =$	1.77 m2	
機 械 掘 削			
一次掘削 バックホウ0.35m3	一次掘削	m3	— m3
立坑掘削 クラムシェル0.20m3	立坑部 $1.82 \times (6.272 - 0.05) =$	11.32 m3	11.32 m3
モルタル充填	埋戻高(土工図より)	3.772 m	
	全体 $1.77 \times 3.772 =$	6.68 m3	
	控除		
	底版等 $1.100^2 \times \pi / 4 \times (0.13 + 0.000) =$	-0.12 m3	
	直壁等 $1.050^2 \times \pi / 4 \times (3.772 - 0.130 - 0.000) =$	-3.15 m3	
	推進管		
	上流管 $0.216^2 \times \pi / 4 \times 0.225 =$	-0.01 m3	
	推進管		
	下流管 $0.216^2 \times \pi / 4 \times 0.225 =$	-0.01 m3	
	計 3.39 m3	3.39 m3	
埋戻(B区分 再生砕石)	埋戻高(土工図より)	1.050 m	
	全体 $1.82 \times 1.050 =$	1.91 m3	
	直壁等 $1.050^2 \times \pi / 4 \times 0.558 =$	-0.48 m3	
	斜壁等 $0.935^2 \times \pi / 4 \times (1.050 - 0.558) =$	-0.34 m3	
	発生路盤材	-0.73 m3	
	計 0.36 m3	0.36 m3	

立 坑 No. 486-1 (本管 φ 200 両到達立坑 φ 1500) 土 工 調 書			2/2
工 種	計 算 式	数 量	
埋戻 (B区分 発生路盤材)	発生路盤材量 $1.82 \times 0.400 =$ 0.73 m^3	0.7 m ³	
発 生 土 処 理	掘削土量－発生路盤材量×1.11		
	$(0.00 + 11.32) - 0.73 \times 1.11 =$	10.5 m ³	
舗装撤去工			
舗装切断工 15cm以下	$1.524 \times \pi =$	4.79 m	
濁水運搬処理工 As 5cm	$4.79 \times 0.130 \text{ m}^3 / 100 \text{ m} =$	0.006 m ³	
舗装版破碎工 15cm以下	$1.524^2 \times \pi / 4 =$	1.82 m ²	
アスコン廃材処理工	$1.82 \times 0.05 =$	0.09 m ³	
道路復旧工 市道 45cm	$1.82 - 0.820^2 \times \pi / 4 =$	1.29 m ²	



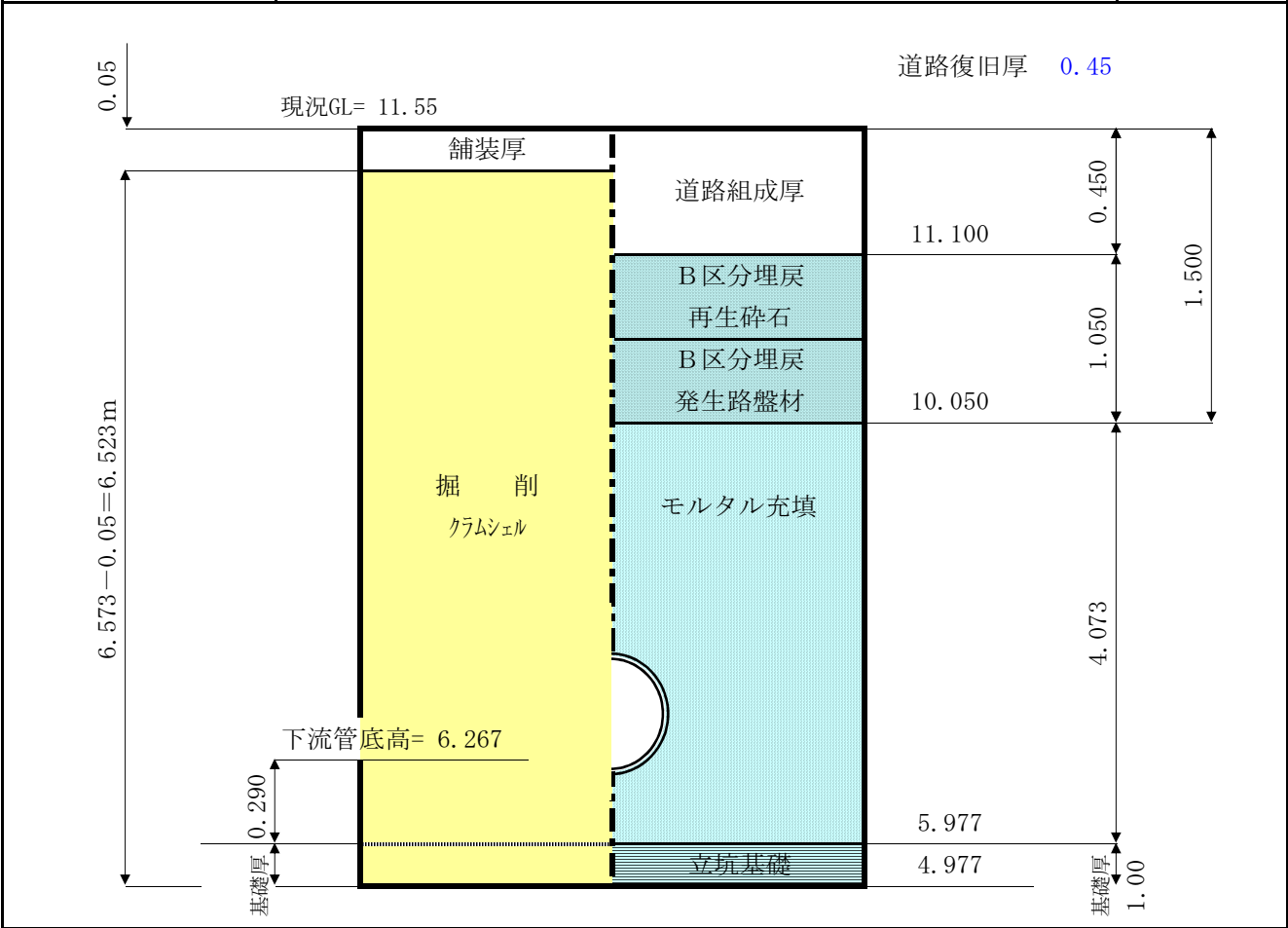
立 坑 No. 490-1 (本管 φ 200 両発進立坑 φ 1800) 土 工 調 書			1/2
工 種	計 算 式	数 量	
鋼製ケーシング立坑深	地盤高－管底高＋余裕高・機械高		
	$11.50 - 6.445 + 0.450 =$	5.505 m	
掘 削 深	立坑深＋基礎厚		
	$5.505 + 1.00 =$	6.505 m	
覆 工 面 積			
	m2		
立 坑 面 積	外径 $1.824^2 \times \pi / 4 =$	2.61 m2	
	内径 $1.80^2 \times \pi / 4 =$	2.54 m2	
機 械 掘 削			
一次掘削 バックホウ0.35m3	一次掘削	m3	— m3
立坑掘削 クラムシェル0.40m3	立坑部 $2.61 \times (6.505 - 0.05) =$	16.85 m3	16.85 m3
モルタル充填	埋戻高(土工図より)	4.005 m	
	全体 $2.54 \times 4.005 =$	10.17 m3	
	控除		
	底版等 $1.100^2 \times \pi / 4 \times (0.13 + 0.160) =$	-0.28 m3	
	直壁等 $1.100^2 \times \pi / 4 \times (1.80 + 0.000) =$	-1.71 m3	
	直壁等 $1.050^2 \times \pi / 4 \times (4.005 - 0.130 - 0.160 - 1.800) =$	-1.66 m3	
	推進管		
	上流管 $0.216^2 \times \pi / 4 \times 0.225 =$	-0.01 m3	
	推進管		
	下流管 $0.216^2 \times \pi / 4 \times 0.225 =$	-0.01 m3	
	計 6.50 m3	6.50 m3	
埋戻(B区分 再生砕石)	埋戻高(土工図より)	1.050 m	
	全体 $2.61 \times 1.050 =$	2.74 m3	
	直壁等 $1.050^2 \times \pi / 4 \times 0.485 =$	-0.42 m3	
	斜壁等 $0.935^2 \times \pi / 4 \times (1.050 - 0.485) =$	-0.39 m3	
	発生路盤材	-1.04 m3	
	計 0.89 m3	0.89 m3	

立 坑 No. 490-1 (本管 φ 200 両発進立坑 φ 1800) 土 工 調 書			2/2
工 種	計 算 式	数 量	
埋戻 (B区分 発生路盤材)	発生路盤材量 $2.61 \times 0.400 =$ 1.04 m^3	1.0 m ³	
発 生 土 処 理	掘削土量－発生路盤材量×1.11		
	$(0.00 + 16.85) - 1.04 \times 1.11 =$	15.7 m ³	
舗装撤去工			
舗装切断工 15cm以下	$1.824 \times \pi =$	5.73 m	
濁水運搬処理工 As 5cm	$5.73 \times 0.130 \text{ m}^3 / 100 \text{ m} =$	0.007 m ³	
舗装版破碎工 15cm以下	$1.824^2 \times \pi / 4 =$	2.61 m ²	
アスコン廃材処理工	$2.61 \times 0.05 =$	0.13 m ³	
道路復旧工 市道 45cm	$2.61 - 0.820^2 \times \pi / 4 =$	2.08 m ²	



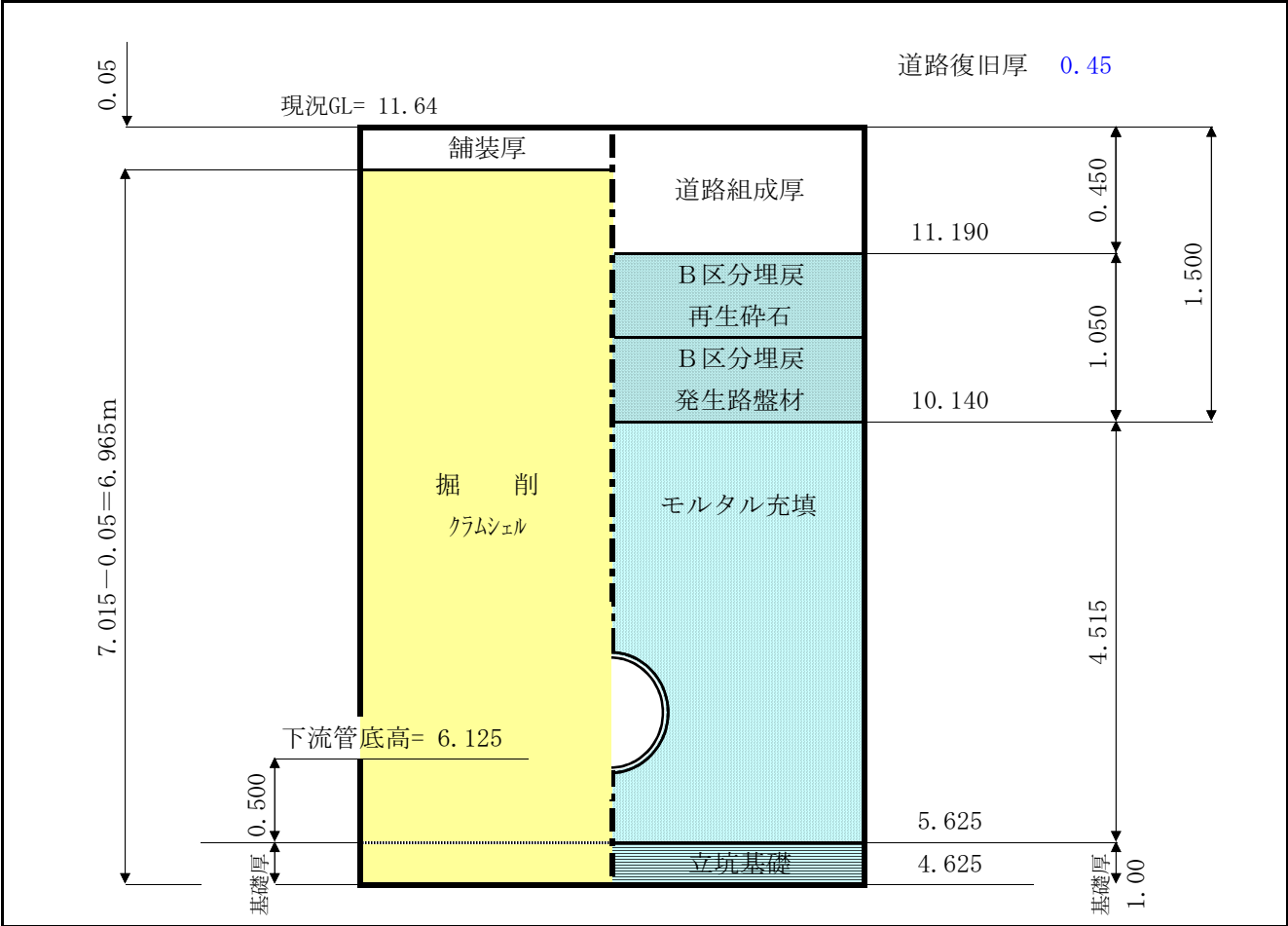
立 坑 No. 492-1 (本管 φ 200 両到達立坑 φ 1500) 土 工 調 書			1/2
工 種	計 算 式	数 量	
鋼製ケーシング立坑深	地盤高－管底高＋余裕高・機械高		
	$11.55 - 6.267 + 0.290 =$	5.573 m	
掘 削 深	立坑深＋基礎厚		
	$5.573 + 1.00 =$	6.573 m	
覆 工 面 積			
	m2		
立 坑 面 積			
	外径 $1.524^2 \times \pi / 4 =$ 1.82 m2		
	内径 $1.50^2 \times \pi / 4 =$ 1.77 m2		
機 械 掘 削			
一次掘削 バックホウ0.35m3			
	一次掘削 m3	— m3	
立坑掘削 クラムシェル0.20m3			
	立坑部 $1.82 \times (6.573 - 0.05) =$ 11.87 m3	11.87 m3	
モルタル充填			
	埋戻高(土工図より) 4.073 m		
	全体 $1.77 \times 4.073 =$ 7.21 m3		
	控除		
	底版等 $1.100^2 \times \pi / 4 \times (0.13 + 0.000) =$ -0.12 m3		
	直壁等 $1.100^2 \times \pi / 4 \times (1.80 + 0.000) =$ -1.71 m3		
	直壁等 $1.050^2 \times \pi / 4 \times (4.073 - 0.130 - 1.800) =$ -1.86 m3		
	推進管		
	上流管 $0.216^2 \times \pi / 4 \times 0.225 =$ -0.01 m3		
	推進管		
	下流管 $0.216^2 \times \pi / 4 \times 0.225 =$ -0.01 m3		
	計 3.50 m3	3.50 m3	
埋戻(B区分 再生砕石)			
	埋戻高(土工図より) 1.050 m		
	全体 $1.82 \times 1.050 =$ 1.91 m3		
	直壁等 $1.050^2 \times \pi / 4 \times 0.557 =$ -0.48 m3		
	斜壁等 $0.935^2 \times \pi / 4 \times (1.050 - 0.557) =$ -0.34 m3		
	発生路盤材 -0.73 m3		
	計 0.36 m3	0.36 m3	

立 坑 No. 492-1 (本管 φ 200 両到達立坑 φ 1500) 土 工 調 書			2/2
工 種	計 算 式	数 量	
埋戻 (B区分 発生路盤材)	発生路盤材量 $1.82 \times 0.400 =$ 0.73 m^3	0.7 m ³	
発 生 土 処 理	掘削土量－発生路盤材量×1.11		
	$(0.00 + 11.87) - 0.73 \times 1.11 =$	11.1 m ³	
舗装撤去工			
舗装切断工 15cm以下	$1.524 \times \pi =$	4.79 m	
濁水運搬処理工 As 5cm	$4.79 \times 0.130 \text{ m}^3 / 100 \text{ m} =$	0.006 m ³	
舗装版破碎工 15cm以下	$1.524^2 \times \pi / 4 =$	1.82 m ²	
アスコン廃材処理工	$1.82 \times 0.05 =$	0.09 m ³	
道路復旧工 市道 45cm	$1.82 - 0.820^2 \times \pi / 4 =$	1.29 m ²	



立 坑 No. 492-2 (本管 φ 200 両発進立坑 φ 1800) 土 工 調 書			1/2
工 種	計 算 式	数 量	
鋼製ケーシング立坑深	地盤高－管底高＋余裕高・機械高		
	$11.64 - 6.125 + 0.500 =$	6.015 m	
掘 削 深	立坑深＋基礎厚		
	$6.015 + 1.00 =$	7.015 m	
覆 工 面 積			
	m2		
立 坑 面 積	外径 $1.824^2 \times \pi / 4 =$	2.61 m2	
	内径 $1.80^2 \times \pi / 4 =$	2.54 m2	
機 械 掘 削			
一次掘削 バックホウ0.35m3	一次掘削	m3	— m3
立坑掘削 クラムシェル0.40m3	立坑部 $2.61 \times (7.015 - 0.05) =$	18.18 m3	18.18 m3
モルタル充填	埋戻高(土工図より)	4.515 m	
	全体 $2.54 \times 4.515 =$	11.47 m3	
	控除		
	底版等 $1.100^2 \times \pi / 4 \times (0.13 + 0.160) =$	-0.28 m3	
	直壁等 $1.100^2 \times \pi / 4 \times (1.80 + 0.000) =$	-1.71 m3	
	直壁等 $1.050^2 \times \pi / 4 \times (4.515 - 0.130 - 0.160 - 1.800) =$	-2.10 m3	
	推進管		
	上流管 $0.216^2 \times \pi / 4 \times 0.225 =$	-0.01 m3	
	推進管		
	下流管 $0.318^2 \times \pi / 4 \times 0.225 =$	-0.02 m3	
	計 7.35 m3	7.35 m3	
埋戻(B区分 再生砕石)	埋戻高(土工図より)	1.050 m	
	全体 $2.61 \times 1.050 =$	2.74 m3	
	直壁等 $1.050^2 \times \pi / 4 \times 0.575 =$	-0.50 m3	
	斜壁等 $0.935^2 \times \pi / 4 \times (1.050 - 0.575) =$	-0.33 m3	
	発生路盤材	-1.04 m3	
	計 0.87 m3	0.87 m3	

立 坑 No. 492-2 (本管 φ 200 両発進立坑 φ 1800) 土 工 調 書			2/2
工 種	計 算 式	数 量	
埋戻 (B区分 発生路盤材)	発生路盤材量 $2.61 \times 0.400 =$ 1.04 m^3	1.0 m ³	
発 生 土 処 理	掘削土量－発生路盤材量×1.11		
	$(0.00 + 18.18) - 1.04 \times 1.11 =$	17.0 m ³	
舗装撤去工			
舗装切断工 15cm以下	$1.824 \times \pi =$	5.73 m	
濁水運搬処理工 As 5cm	$5.73 \times 0.130 \text{ m}^3 / 100 \text{ m} =$	0.007 m ³	
舗装版破碎工 15cm以下	$1.824^2 \times \pi / 4 =$	2.61 m ²	
アスコン廃材処理工	$2.61 \times 0.05 =$	0.13 m ³	
道路復旧工 市道 45cm	$2.61 - 0.820^2 \times \pi / 4 =$	2.08 m ²	



立 坑 工（鋼製ケーシング立坑土留）集 計 表											
名 称		単位	定数値	No. 484-1	No. 484-2	No. 486-1	No. 490-1	No. 492-1	No. 492-2	合 計	平 均
				両到達	両発進	両到達	両発進	両到達	両発進		
				φ 1500	φ 1800	φ 1500	φ 1800	φ 1500	φ 1800		
圧入掘削工	粘性土 φ 2000	m		—	—	—	—	—	—		
	砂質土 φ 2000	m		—	—	—	—	—	—		
	砂礫土 φ 2000	m		—	—	—	—	—	—		
	粘性土 φ 1800	m		—	6. 291	—	6. 455	—	6. 965	19. 71	6. 57
	砂質土 φ 1800	m		—	—	—	—	—	—		
	砂礫土 φ 1800	m		—	—	—	—	—	—		
	粘性土 φ 1500	m		5. 986	—	6. 222	—	6. 523	—	18. 73	6. 24
	砂質土 φ 1500	m		—	—	—	—	—	—		
	砂礫土 φ 1500	m		—	—	—	—	—	—		
	溶接工	ケーシング [※] φ 2000	箇所		—	—	—	—	—	—	
φ 1800		箇所		—	2	—	2	—	2	6	
φ 1500		箇所		2	—	2	—	2	—	6	
引上工	ケーシング [※] φ 2000	m		—	—	—	—	—	—		
	φ 1800	m		—	0. 90	—	0. 90	—	0. 90	2. 70	0. 90
	φ 1500	m		0. 90	—	0. 90	—	0. 90	—	2. 70	0. 90
撤去工	ケーシング [※] 切断 φ 2000	m		—	—	—	—	—	—		
	φ 1800	m		—	11. 49	—	11. 63	—	11. 59	34. 71	11. 57
	φ 1500	m		10. 57	—	10. 42	—	10. 42	—	31. 41	10. 47
底盤工	底スラブコンクリート打設 φ 2000	m3		—	—	—	—	—	—		
	φ 1800	m3		—	2. 50	—	2. 50	—	2. 50	7. 50	
	φ 1500	m3		1. 80	—	1. 80	—	1. 80	—	5. 40	
	スライム処分工 φ 2000	m3		—	—	—	—	—	—		
	φ 1800	m3		—	1. 00	—	1. 00	—	1. 00	3. 00	
	φ 1500	m3		0. 70	—	0. 70	—	0. 70	—	2. 10	

立坑工（鋼製ケーシング立坑土留）集計表

名 称		単位	定数値	No. 484-1	No. 484-2	No. 486-1	No. 490-1	No. 492-1	No. 492-2	合 計	平 均
				両到達	両発進	両到達	両発進	両到達	両発進		
				φ 1500	φ 1800	φ 1500	φ 1800	φ 1500	φ 1800		
ケ ー シ ン グ 材 料	刃先(加工・接続) φ 2000用	組		—	—	—	—	—	—		
	φ 1800用	組		—	1	—	1	—	1	3	
	φ 1500用	組		1	—	1	—	1	—	3	
	ケーシング φ 2000 先頭ケーシング	m		—	—	—	—	—	—		
	中間ケーシング	m		—	—	—	—	—	—		
	最終ケーシング	m		—	—	—	—	—	—		
	計	m									
	ケーシング φ 1800 先頭ケーシング	m		—	2.40	—	2.40	—	2.40	7.20	
	中間ケーシング	m		—	2.40	—	2.40	—	2.40	7.20	
	最終ケーシング	m		—	0.80	—	1.00	—	1.50	3.30	
	計	m			5.60		5.80		6.30	17.70	5.90
	ケーシング φ 1500 先頭ケーシング	m		2.40	—	2.40	—	2.40	—	7.20	
	中間ケーシング	m		2.40	—	2.40	—	2.40	—	7.20	
	最終ケーシング	m		0.50	—	0.70	—	1.00	—	2.20	
	計	m		5.30		5.50		5.80		16.60	5.53
	仮設ケーシング φ 2000用	回		—	—	—	—	—	—		
	φ 1800用	回		—	1	—	1	—	1	3	
	φ 1500用	回		1	—	1	—	1	—	3	
ス ク ラ ッ プ 控 除	ケーシング切断撤去 φ 2000	t		—	—	—	—	—	—		
	φ 1800	t		—	0.826	—	0.854	—	0.840	2.52	0.84
	φ 1500	t		0.698	—	0.681	—	0.689	—	2.07	0.69
覆 工 板	円形覆工板 φ 2000用	箇所		—	—	—	—	—	—		
	φ 1800用	箇所		—	1	—	1	—	1	3	
	φ 1500用	箇所		1	—	1	—	1	—	3	
立 坑 基 礎	碎石基礎 RC40-0 20cm	m2		—	—	—	—	—	—		
	基礎コンクリート 18N/mm2	m3		—	—	—	—	—	—		

立 坑 No. 484-1 (本管 φ 200 両到達立坑 φ 1500) 土 工 調 書		
工 種	計 算 式	数 量
立 坑 形 状	鋼製ケーシング立坑 φ 1500	
ケーシング立坑深	地盤高－管底高＋余裕高	
	$11.65 - 6.904 + 0.290 =$	5.036 m
掘 削 圧 入 深	立坑深＋基礎厚－舗装厚	
	$5.036 + 1.000 - 0.050 =$	5.986 m
粘 性 土	ボーリング S59 No.5 より	
		5.986 m
砂 質 土		
		m
砂 礫 土		
		m
溶 接 工		
	4.7m/箇所(ケーシング接合箇所当り)	2 箇所
引 上 長		
	0.9m (ケーシング φ 1500)	0.9 m
切断工 (4分割)		
	$1.50 \times \pi + 1.464 (\text{撤去長}) \times 4 \text{分割} =$	10.57 m
底スラブコンクリート工		
	1.8m ³ /箇所(ケーシング φ 1500)	1.8 m ³
スライム処分工		
	0.7m ³ /箇所(ケーシング φ 1500)	0.7 m ³
埋設ケーシング長	立坑深＋根入長－施工余裕	
	$5.036 + 0.300 - 0.036 =$	5.300 m
刃先 φ 1500用		
		1 組
先頭ケーシング φ 1500		
		2.40 m
中間ケーシング φ 1500		
		2.40 m
最終ケーシング φ 1500		
		0.50 m
仮設ケーシング φ 1500		
		1 回
ス ク ラ ッ プ		
	$1.464 (\text{撤去長}) \times 0.466 \text{ t/m} =$ 0.682 t	
	流出管口 φ 216＋余裕100	
	$0.316^2 \times \pi / 4 \times 0.099 \text{ t/m}^2 \times 1 \text{箇所} =$ 0.008 t	
	流入管口 φ 216＋余裕100	
	$0.316^2 \times \pi / 4 \times 0.099 \text{ t/m}^2 \times 1 \text{箇所} =$ 0.008 t	
		0.698 t
覆 工 板		
	円形覆工板 φ 1500用	1 箇所

立 坑 No. 484-2 (本管 φ 200 両発進立坑 φ 1800) 土 工 調 書		
工 種	計 算 式	数 量
立 坑 形 状	鋼製ケーシング立坑 φ 1800	
ケーシング立坑深	地盤高－管底高＋余裕高	
	$11.70 - 6.809 + 0.450 =$	5.341 m
掘 削 圧 入 深	立坑深＋基礎厚－舗装厚	
	$5.341 + 1.000 - 0.050 =$	6.291 m
粘 性 土	ボーリング S59 No.5 より	
		6.291 m
砂 質 土		
		m
砂 礫 土		
		m
溶 接 工		
	5.7m/箇所(ケーシング接合箇所当り)	2 箇所
引 上 長		
	0.9m (ケーシング φ 1800)	0.9 m
切断工 (4分割)		
	$1.80 \times \pi + 1.459 (\text{撤去長}) \times 4 \text{分割} =$	11.49 m
底スラブコンクリート工		
	2.5m ³ /箇所(ケーシング φ 1800)	2.5 m ³
スライム処分工		
	1.0m ³ /箇所(ケーシング φ 1800)	1.0 m ³
埋設ケーシング長	立坑深＋根入長－施工余裕	
	$5.341 + 0.300 - 0.041 =$	5.600 m
刃先 φ 1800用		
		1 組
先頭ケーシング φ 1800		
		2.40 m
中間ケーシング φ 1800		
		2.40 m
最終ケーシング φ 1800		
		0.80 m
仮設ケーシング φ 1800		
		1 回
ス ク ラ ッ プ		
	$1.459 (\text{撤去長}) \times 0.555 \text{ t/m} =$ 0.810 t	
	流出管口 φ 216＋余裕100	
	$0.316^2 \times \pi / 4 \times 0.098 \text{ t/m}^2 \times 1 \text{箇所} =$ 0.008 t	
	流入管口 φ 216＋余裕100	
	$0.316^2 \times \pi / 4 \times 0.098 \text{ t/m}^2 \times 1 \text{箇所} =$ 0.008 t	
		0.826 t
覆 工 板		
	円形覆工板 φ 1800用	1 箇所

立 坑 No. 486-1 (本管 φ 200 両到達立坑 φ 1500) 土 工 調 書		
工 種	計 算 式	数 量
立 坑 形 状	鋼製ケーシング立坑 φ 1500	
ケーシング立坑深	地盤高－管底高＋余裕高	
	$11.62 - 6.638 + 0.290 =$	5.272 m
掘 削 圧 入 深	立坑深＋基礎厚－舗装厚	
	$5.272 + 1.000 - 0.050 =$	6.222 m
粘 性 土	ボーリング S59 No.5 より	
		6.222 m
砂 質 土		
		m
砂 礫 土		
		m
溶 接 工		
	4.7m/箇所(ケーシング接合箇所当り)	2 箇所
引 上 長		
	0.9m (ケーシング φ 1500)	0.9 m
切断工 (4分割)		
	$1.50 \times \pi + 1.428 (\text{撤去長}) \times 4 \text{分割} =$	10.42 m
底スラブコンクリート工		
	1.8m ³ /箇所(ケーシング φ 1500)	1.8 m ³
スライム処分工		
	0.7m ³ /箇所(ケーシング φ 1500)	0.7 m ³
埋設ケーシング長	立坑深＋根入長－施工余裕	
	$5.272 + 0.300 - 0.072 =$	5.500 m
刃先 φ 1500用		
		1 組
先頭ケーシング φ 1500		
		2.40 m
中間ケーシング φ 1500		
		2.40 m
最終ケーシング φ 1500		
		0.70 m
仮設ケーシング φ 1500		
		1 回
ス ク ラ ッ プ		
	$1.428 (\text{撤去長}) \times 0.466 \text{ t/m} =$ 0.665 t	
	流出管口 φ 216＋余裕100	
	$0.316^2 \times \pi / 4 \times 0.099 \text{ t/m}^2 \times 1 \text{箇所} =$ 0.008 t	
	流入管口 φ 216＋余裕100	
	$0.316^2 \times \pi / 4 \times 0.099 \text{ t/m}^2 \times 1 \text{箇所} =$ 0.008 t	
		0.681 t
覆 工 板		
	円形覆工板 φ 1500用	1 箇所

立 坑 No. 490-1 (本管 φ 200 両発進立坑 φ 1800) 土 工 調 書		
工 種	計 算 式	数 量
立 坑 形 状	鋼製ケーシング立坑 φ 1800	
ケーシング立坑深	地盤高－管底高＋余裕高	
	$11.50 - 6.445 + 0.450 =$	5.505 m
掘 削 圧 入 深	立坑深＋基礎厚－舗装厚	
	$5.505 + 1.000 - 0.050 =$	6.455 m
粘 性 土	ボーリング S59 No.5 より	
		6.455 m
砂 質 土		
		m
砂 礫 土		
		m
溶 接 工		
	5.7m/箇所(ケーシング接合箇所当り)	2 箇所
引 上 長		
	0.9m (ケーシング φ 1800)	0.9 m
切断工 (4分割)		
	$1.80 \times \pi + 1.495 (\text{撤去長}) \times 4 \text{分割} =$	11.63 m
底スラブコンクリート工		
	2.5m ³ /箇所(ケーシング φ 1800)	2.5 m ³
スライム処分工		
	1.0m ³ /箇所(ケーシング φ 1800)	1.0 m ³
埋設ケーシング長	立坑深＋根入長－施工余裕	
	$5.505 + 0.300 - 0.005 =$	5.800 m
刃先 φ 1800用		
		1 組
先頭ケーシング φ 1800		
		2.40 m
中間ケーシング φ 1800		
		2.40 m
最終ケーシング φ 1800		
		1.00 m
仮設ケーシング φ 1800		
		1 回
ス ク ラ ッ プ		
	$1.495 (\text{撤去長}) \times 0.555 \text{ t/m} =$ 0.830 t	
	流出管口 φ 216＋余裕100	
	$0.316^2 \times \pi / 4 \times 0.098 \text{ t/m}^2 \times 1 \text{箇所} =$ 0.008 t	
	流入管口 φ 216＋余裕100	
	$0.316^2 \times \pi / 4 \times 0.098 \text{ t/m}^2 \times 1 \text{箇所} =$ 0.008 t	
	流入管口 φ 216＋余裕100	
	$0.316^2 \times \pi / 4 \times 0.098 \text{ t/m}^2 \times 1 \text{箇所} =$ 0.008 t	
		0.854 t
覆 工 板		
	円形覆工板 φ 1800用	1 箇所

立 坑 No. 492-1 (本管 φ 200 両到達立坑 φ 1500) 土 工 調 書		
工 種	計 算 式	数 量
立 坑 形 状	鋼製ケーシング立坑 φ 1500	
ケーシング立坑深	地盤高－管底高＋余裕高	
	$11.55 - 6.267 + 0.290 =$	5.573 m
掘 削 圧 入 深	立坑深＋基礎厚－舗装厚	
	$5.573 + 1.000 - 0.050 =$	6.523 m
粘 性 土	ボーリング S59 No.5 より	
		6.523 m
砂 質 土		
		m
砂 礫 土		
		m
溶 接 工		
	4.7m/箇所(ケーシング接合箇所当り)	2 箇所
引 上 長		
	0.9m (ケーシング φ 1500)	0.9 m
切断工 (4分割)		
	$1.50 \times \pi + 1.427 (\text{撤去長}) \times 4 \text{分割} =$	10.42 m
底スラブコンクリート工		
	1.8m ³ /箇所(ケーシング φ 1500)	1.8 m ³
スライム処分工		
	0.7m ³ /箇所(ケーシング φ 1500)	0.7 m ³
埋設ケーシング長	立坑深＋根入長－施工余裕	
	$5.573 + 0.300 - 0.073 =$	5.800 m
刃先 φ 1500用		
		1 組
先頭ケーシング φ 1500		
		2.40 m
中間ケーシング φ 1500		
		2.40 m
最終ケーシング φ 1500		
		1.00 m
仮設ケーシング φ 1500		
		1 回
ス ク ラ ッ プ		
	$1.427 (\text{撤去長}) \times 0.466 \text{ t/m} =$ 0.665 t	
	流出管口 φ 216＋余裕100	
	$0.316^2 \times \pi / 4 \times 0.099 \text{ t/m}^2 \times 1 \text{箇所} =$ 0.008 t	
	流入管口 φ 216＋余裕100	
	$0.316^2 \times \pi / 4 \times 0.099 \text{ t/m}^2 \times 1 \text{箇所} =$ 0.008 t	
	流入管口 φ 216＋余裕100	
	$0.316^2 \times \pi / 4 \times 0.099 \text{ t/m}^2 \times 1 \text{箇所} =$ 0.008 t	
		0.689 t
覆 工 板		
	円形覆工板 φ 1500用	1 箇所

立 坑 No. 492-2 (本管 φ 200 両発進立坑 φ 1800) 土 工 調 書		
工 種	計 算 式	数 量
立 坑 形 状	鋼製ケーシング立坑 φ 1800	
ケーシング立坑深	地盤高－管底高＋余裕高	
	$11.64 - 6.125 + 0.500 =$	6.015 m
掘 削 圧 入 深	立坑深＋基礎厚－舗装厚	
	$6.015 + 1.000 - 0.050 =$	6.965 m
粘 性 土	ボーリング S59 No.5 より	
		6.965 m
砂 質 土		
		m
砂 礫 土		
		m
溶 接 工		
	5.7m/箇所(ケーシング接合箇所当り)	2 箇所
引 上 長		
	0.9m (ケーシング φ 1800)	0.9 m
切断工 (4分割)		
	$1.80 \times \pi + 1.485 (\text{撤去長}) \times 4 \text{分割} =$	11.59 m
底スラブコンクリート工		
	2.5m ³ /箇所(ケーシング φ 1800)	2.5 m ³
スライム処分工		
	1.0m ³ /箇所(ケーシング φ 1800)	1.0 m ³
埋設ケーシング長	立坑深＋根入長－施工余裕	
	$6.015 + 0.300 - 0.015 =$	6.300 m
刃先 φ 1800用		
		1 組
先頭ケーシング φ 1800		
		2.40 m
中間ケーシング φ 1800		
		2.40 m
最終ケーシング φ 1800		
		1.50 m
仮設ケーシング φ 1800		
		1 回
ス ク ラ ッ プ		
	$1.485 (\text{撤去長}) \times 0.555 \text{ t/m} =$	0.824 t
	流出管口 φ 216＋余裕100	
	$0.316^2 \times \pi / 4 \times 0.098 \text{ t/m}^2 \times 1 \text{箇所} =$	0.008 t
	流入管口 φ 216＋余裕100	
	$0.316^2 \times \pi / 4 \times 0.098 \text{ t/m}^2 \times 1 \text{箇所} =$	0.008 t
		0.840 t
覆 工 板		
	円形覆工板 φ 1800用	1 箇所

マンホール工（既設 3 号現場打マンホール工集計表）							
種 別		数 量	備 考	種 別		数 量	備 考
マンホール設置箇所数		箇所		軀 体 1 号	1500× 600	個	
平均マンホール深(H)			m/箇所		1500× 900	個	
人 孔 設 置	3m以下	箇所			1500×1200	個	
	3m超～4m以下	箇所			1500×1500	個	
	4m超～5m以下	箇所			1500×1800	個	
鉄 蓋	T-25	組					
	T-14	組		底 版		個	
	転落防止用梯子	組					
	耐スリップ加工	組		削 孔	PRP φ 150	箇所	
口 環 据 付 工	口環変形防止用金具	個	M16 L=250mm		VU φ 200	1 箇所	
	無収縮モルタル	m3			PRP φ 250	箇所	
	1, 875kg/m3	kg					
調 整 リ ン グ	600×100	個		底 部 工	インバート有り	箇所	
	600×150	個			インバート打換	1 箇所	
斜 壁 1 号	600×900×450	個			再生切込碎石	m3	
	600×900×600	個			インバートコンクリート	m3	
直 壁 3 号	1500× 300	個			モルタル上塗り	0.17 m2	
	1500× 600	個			Co取壊し工(無筋)	0.02 m3	
	1500× 900	個					
	1500×1200	個					
	1500×1500	個					
	1500×1800	個					

3 号 現 場 打 マ ン ホ ール 調 書

マンホール 番号	マンホール 深	流 出 管		流 入 管				副 管				調 整 高	底 版 P	軀 体						直 壁						斜壁		調 整 リンク		口 環 工	鉄 蓋				削 孔		
		管径/管底高	管種	管径	管種	管底高	落差	管径	管種	落差	種別			60	90	120	150	180	30	60	90	120	150	180	45	60	10	15	T 25		T 14	梯 子	耐 滑	150 箇所	200 箇所	250 箇所	
単 位	m	mm/m		mm		m	mm	mm		mm		mm	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	組	組	組	組					
No. 既15-1	6.160	450 5.410	HP	200 450	VU HP	6.096 5.430	686 20	150	VU	686																								1			
マンホール設置工		平均深H=																																			
H≤3m	箇所					インバート工： 有		箇所		小計																											
H≤4m	箇所																																				
H≤5m	箇所	m/箇所				インバート工： 打換		1 箇所		合計																								1			

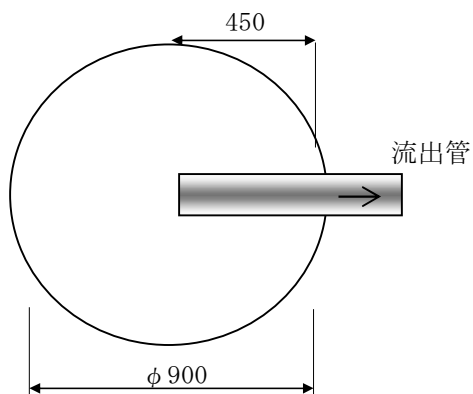
マンホール工（1号組立マンホール設置工集計表）							
種 別		数 量	備 考	種 別		数 量	備 考
マンホール設置箇所数		6 箇所		軀 体 1 号	900× 600	個	
平均マンホール深(H)		5.079	m/箇所		900× 900	個	
人 孔 設 置	3m以下	箇所			900×1200	個	
	3m超～4m以下	箇所			900×1500	個	
	4m超～5m以下	6 箇所	内5m超 3箇所		900×1800	6 個	I 種 3個 II 種 3個
鉄 蓋	T-25	組					
	T-14	6 組					
	転落防止用梯子	6 組		底板	1100×130	6 個	I 種 3個 II 種 3個
	耐スリップ加工	6 組		削 孔	PRP φ 150	箇所	
口 環 据 付 工	口環変形防止用金具	6 個	M16 L=250mm		VP, VU, PRP φ 200	7 箇所	
	無収縮モルタル	0.07 m3			PRP φ 250	箇所	
	1,875kg/m3	131 kg					
調 整 リ ン グ	600×100	8 個		底 部 工	インバート有り	5 箇所	
	600×150	2 個			インバート打換	箇所	
斜 壁 1 号	600×900×450	個			再生切込碎石	1.14 m3	
	600×900×600	6 個			インバートコンクリート	0.78 m3	
直 壁 1 号	900× 300	1 個			モルタル上塗り	3.78 m2	
	900× 600	3 個			型 枠 工	1.83 m2	
	900× 900	1 個			下部調整コンクリート	0.50 m3	
	900×1200	1 個					
	900×1500	個					
	900×1800	6 個					

1号組立マンホール調書

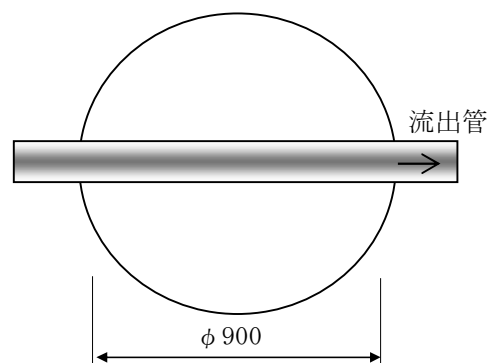
マンホール 番号	マンホール 深	流 出 管		流 入 管				副 管				調整 高	底 版	軀 体						直 壁						斜壁		調 整 リング		口 環	鉄 蓋				削 孔		
		管径/管底高	管種	管径	管種	管底高	落差	管径	管種	落差	種別			60	90	120	150	180	30	60	90	120	150	180	45	60	10	15	T 25		T 14	梯 子	耐 滑	150 箇所	200 箇所	250 箇所	
単 位	m	mm/m		mm		m	mm			mm		ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	組	組	組	組						
No. 484-1	4.746	200 6.904	VP	200 200	PRP VP	9.319 6.954	2415 50					46	1					1	1				1		1	1	1		1	1	1						
インバート施工 No. 484-2	4.891	200 6.809	VP	200	VP	6.829	20					41	1					1		1			1		1	1		1	1	1			1				
インバート施工 No. 486-1	4.982	200 6.638	VP	200	VP	6.688	50					32	1					1		1			1		1	2		1		1	1			1			
インバート施工 No. 490-1	5.055	200 6.445	VP	200 200	PRP VP	9.508 6.465	3063 20					55	1					1		1			1		1	1	1	1		1	1	1			2		
インバート施工 No. 492-1	5.283	200 6.267	VP	200 200	PRP VP	9.290 6.317	3023 50					33	1					1			1		1		1	2		1		1	1	1			2		
インバート施工 No. 492-2	5.515	200 6.125	VU	200	VP	6.145	20					65	1					1				1		1		1	1		1		1	1			1		
マンホール設置工		平均深H=																																			
H≤3m	箇所	5.079																																			
H≤4m	箇所																																				
H≤5m	6箇所	m/箇所		インバート工： 打換		箇所		合計		272	6							6	1	3	1	1		6		6	8	2	6		6	6	6		7		

インバート工調書（1号マンホール）

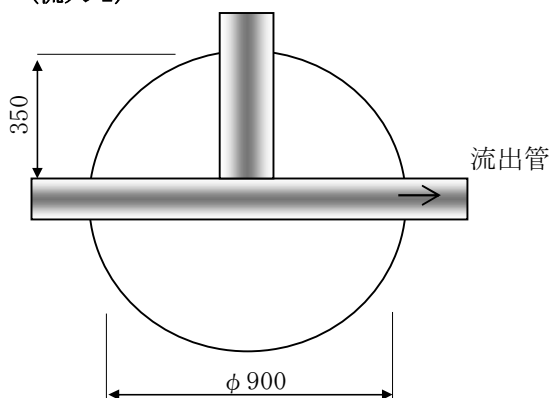
Aタイプ（起点）



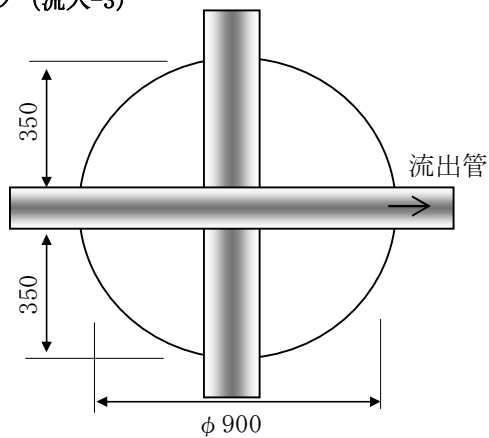
Bタイプ（流入-1）



Cタイプ（流入-2）



Dタイプ（流入-3）



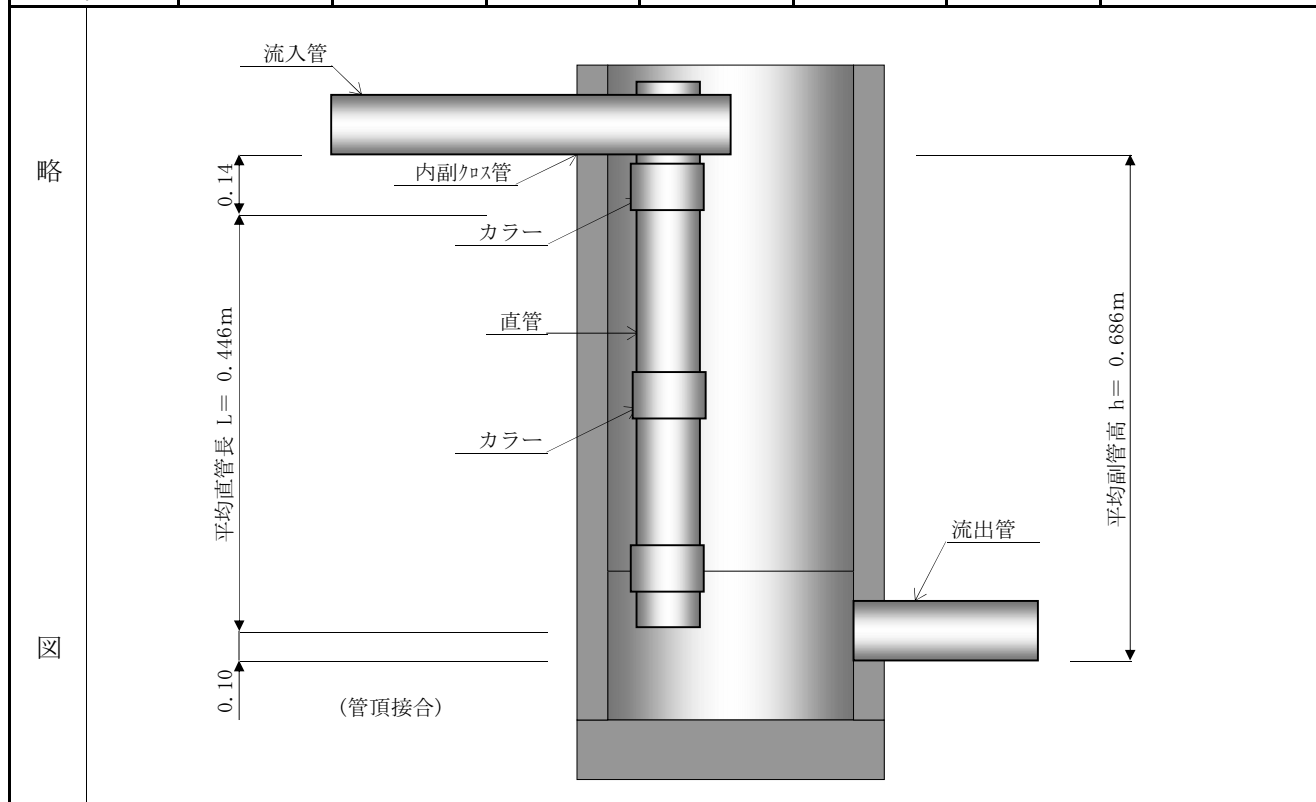
工 種	算 出 根 拠	定 数 値
インバートコンクリート工 18N/mm ²	$0.90^2 \times \pi / 4 \times \{(0.16+0.18)/2+0.20/2\} = 0.172\text{m}^3$	標準管径 200
Aタイプ（起点）	$0.172\text{m}^3 - 0.20^2 \times \pi / 4 \times 1/2 \times 0.45\text{m} =$	0.165 m ³ /箇所
Bタイプ（流入-1）	$0.172\text{m}^3 - 0.20^2 \times \pi / 4 \times 1/2 \times 0.90\text{m} =$	0.158 m ³ /箇所
Cタイプ（流入-2）	$0.172\text{m}^3 - 0.20^2 \times \pi / 4 \times 1/2 \times (0.90+0.35)\text{m} =$	0.152 m ³ /箇所
Dタイプ（流入-3）	$0.172\text{m}^3 - 0.20^2 \times \pi / 4 \times 1/2 \times (0.90+0.70)\text{m} =$	0.147 m ³ /箇所
モルタル上塗り 配合 1:2	$0.90^2 \times \pi / 4 = 0.636\text{m}^2$	
Aタイプ（起点）	$0.636\text{m}^2 - 0.20 \times 0.45\text{m} + 0.20 \times \pi \times 1/2 \times 0.45\text{m} =$	0.687 m ² /箇所
Bタイプ（流入-1）	$0.636\text{m}^2 - 0.20 \times 0.90\text{m} + 0.20 \times \pi \times 1/2 \times 0.90\text{m} =$	0.739 m ² /箇所
Cタイプ（流入-2）	$0.636\text{m}^2 - 0.20 \times 1.25\text{m} + 0.20 \times \pi \times 1/2 \times 1.25\text{m} =$	0.779 m ² /箇所
Dタイプ（流入-3）	$0.636\text{m}^2 - 0.20 \times 1.60\text{m} + 0.20 \times \pi \times 1/2 \times 1.60\text{m} =$	0.819 m ² /箇所

底 部 工（１号マンホール）調 書		
工 種	算 出 根 拠	数 量
マンホール設置箇所		6 箇所
無収縮モルタル 超早強モルタル	総調整高 272 mm = 0.272 m	
	$(0.82^2 - 0.60^2) \times \pi / 4 \times 0.272 =$	0.07 m ³
砕石基礎工(材料) RC-40 t=20cm	$1.10^2 \times \pi / 4 \times 0.20$	
	0.190m ³ ×6箇所 =	1.14 m ³
インバート打設箇所	Aタイプ°(起点) 0 箇所	5 箇所
	Bタイプ°(流入-1) 3 箇所	
	Cタイプ°(流入-2) 2 箇所	
	Dタイプ°(流入-3) 0 箇所	
	※既設打換えは、インバート1/2箇所, モルタル上塗り1箇所計上とする。	
インバートコンクリート工 18N/mm ²	Aタイプ°(起点) 0.165m ³ /箇所 × 0.0箇所= 0.000 m ³	
	Bタイプ°(流入-1) 0.158m ³ /箇所 × 3.0箇所= 0.474 m ³	
	Cタイプ°(流入-2) 0.152m ³ /箇所 × 2.0箇所= 0.304 m ³	
	Dタイプ°(流入-3) 0.147m ³ /箇所 × 0.0箇所= 0.000 m ³	
	計 0.778 m ³	0.78 m ³
モルタル上塗り 配合 1:2	Aタイプ°(起点) 0.687m ² /箇所 × 0箇所= 0.000 m ²	
	Bタイプ°(流入-1) 0.739m ² /箇所 × 3箇所= 2.217 m ²	
	Cタイプ°(流入-2) 0.779m ² /箇所 × 2箇所= 1.558 m ²	
	Dタイプ°(流入-3) 0.819m ² /箇所 × 0箇所= 0.000 m ²	
	計 3.775 m ²	3.78 m ²
型枠工	$1.10 \times \pi \times 0.16 \times 2\text{箇所} + 1.10 \times \pi \times 0.21 \times 1\text{箇所} =$	1.83 m ²
下部調整コンクリート工 18N/mm ²	$1.10^2 \times \pi / 4 \times 0.16 \times 2\text{箇所} + 1.10^2 \times \pi / 4 \times 0.21 \times 1\text{箇所} =$	0.50 m ³

[illegible]

内 副 管 取 付 工

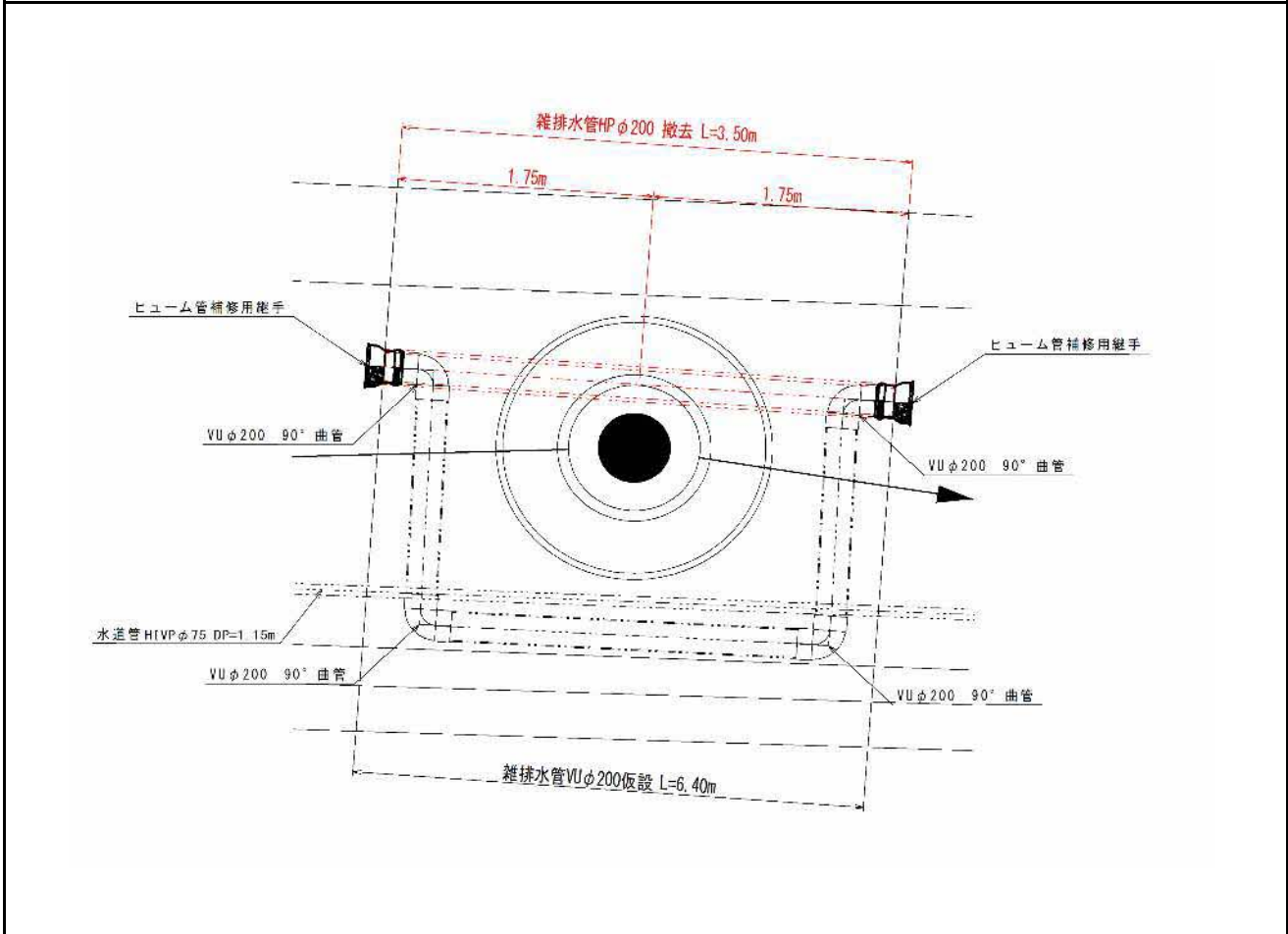
副管 (mm)	箇所数 (箇所)	平均副管高 (m)	既No.15-1				備 考
VU φ 150	1	0.686	0.686				



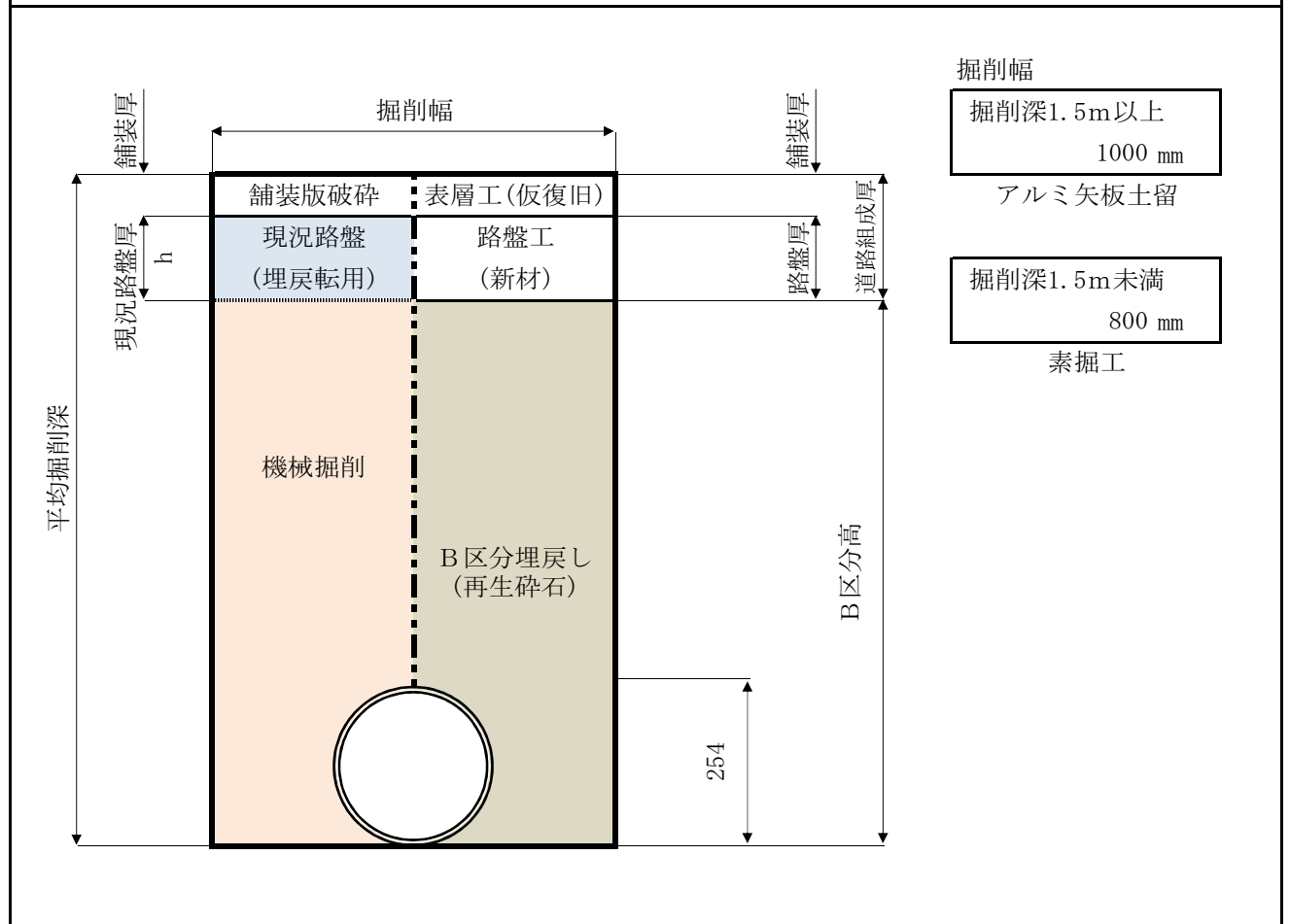
工 種	計 算 式	数 量
ブレンント直管 VU φ 150	平均副管高－落差－支管高 $0.686 - 0.100 - 0.14 = 0.446\text{m/箇所}$	
	$0.446\text{m/箇所} \times 1\text{箇所} =$	0.45 m
内副管用クロス管 VU φ 200×150	貼付型	1 個
接着カラー VU φ 150	クロス管接続部＋直管 4m/箇所 $(1\text{個} + 0.446\text{m} \div 4\text{m/箇所}) \times 1\text{箇所} =$	1 個
90° 曲管 VU φ 150		— 個
固定バンド VU φ 150用	直管 2m/箇所＋クロス管部 $(0.446\text{m} \div 2\text{m/箇所} + 1\text{箇所}) \times 1\text{箇所} =$	2 個

付 帯 工 集 計 表									
名 称		単位	立坑工	マンホール工	HPφ200 撤去工	VUφ200 仮設工	VUφ200 撤去工	VUφ200 布設工	計
管 材 料	硬質塩化ビニル管 (JSWAS K-13)	本							
	ゴム輪受口L=4.0m		—	—	—	2	—	1	3
	ヒューム管補修用継手	個							
	HP-VUφ200		—	—	—	2	—	—	2
		個							
	90° 曲管		—	—	—	4	—	—	4
		個							
	接着カラー		—	—	—	—	—	3	3
		個							
	30° 曲管		—	—	—	—	—	4	4
撤 去 延 長									
	HPφ200	m	—	—	3.50	—	—	—	3.5
	VUφ200	m	—	—	—	—	6.40	—	6.4
仮設延長									
	VUφ200	m	—	—	—	6.40	—	—	6.4
布設延長									
	VUφ200	m	—	—	—	—	—	3.40	3.4
機 械 掘 削 工									
	バックホφ0.20m3級	m3	—	—	2.49	5.40	4.45	2.87	15.2
管 基 礎 工	発生路盤材量 (全体)	m3	—	—	1.12	2.05	2.05	1.09	6.3
	碎石基礎(管下部)								
	バックホφ0.20m3級, タンバ(発生路盤材)	m3	—	—	—	0.51	—	0.27	0.8
	碎石基礎(管周り)								
	バックホφ0.20m3級, タンバ(発生路盤材)	m3	—	—	—	1.38	—	0.73	2.1
	碎石基礎(管周り)								
埋 戻 工	バックホφ0.20m3級, タンバ(再生砕石)	m3	—	—	—	—	—	—	—
	B区分埋戻量 (全体)	m3	—	—	1.55	1.22	2.64	0.65	6.1
	B区分(発生路盤材)								
	バックホφ0.20m3級, タンバ	m3	—	—	1.12	0.16	2.05	0.09	3.4
	B区分(再生切込碎石)								
発生土処理									
	10 tダンプ 運搬処理 バックホφ0.60m3級積込	m3	—	—	1.25	3.12	2.17	1.66	8.2
素 掘 工		m	—	—	3.50	6.40	6.40	3.40	19.7
舗 装 撤 去 工	舗装切断工								
	As 15cm以下	m	31.56	—	7.00	12.80	12.80	6.80	71.0
	濁水運搬処理工								
	アスファルト	m3	0.039	—	0.009	0.017	0.017	0.009	0.091
	舗装版破砕工								
	As 15cm以下	m2	13.29	—	0.14	0.26	0.26	0.14	14.1
構 造 物 撤 去 工	殻廃材処理工								
	アスファルト	m3	0.66	—	0.14	0.26	0.26	0.14	1.5
道 路 復 旧 工	Co取壊し工 (有筋)	m3							
		m3	—	—	0.07	—	—	—	0.07
	Co取壊し工 (無筋)	m3							
道 路 復 旧 工									
	一般市道 表 層 再生密粒As 5cm	m2	10.11	—	2.80	5.12	5.12	2.72	25.9
	上層路盤 再生粒調 20cm	m2	10.11	—	2.80	5.12	5.12	2.72	25.9
道 路 復 旧 工									
	下層路盤 再生切込 20cm	m2	10.11	—	2.80	5.12	5.12	2.72	25.9

雑排水管撤去工 (HP ϕ 200)

[illegible]

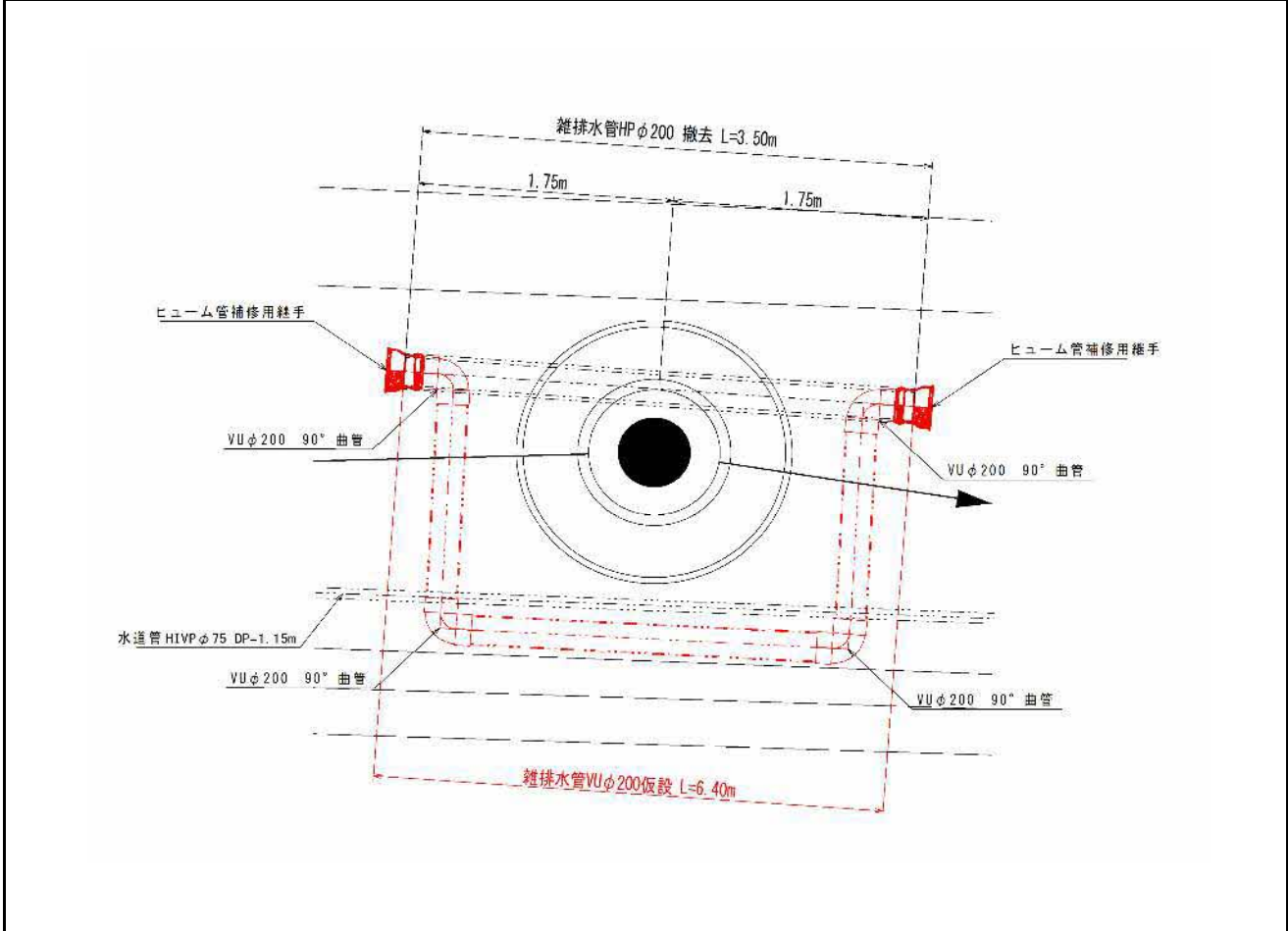
土工定規図 (HP φ200)



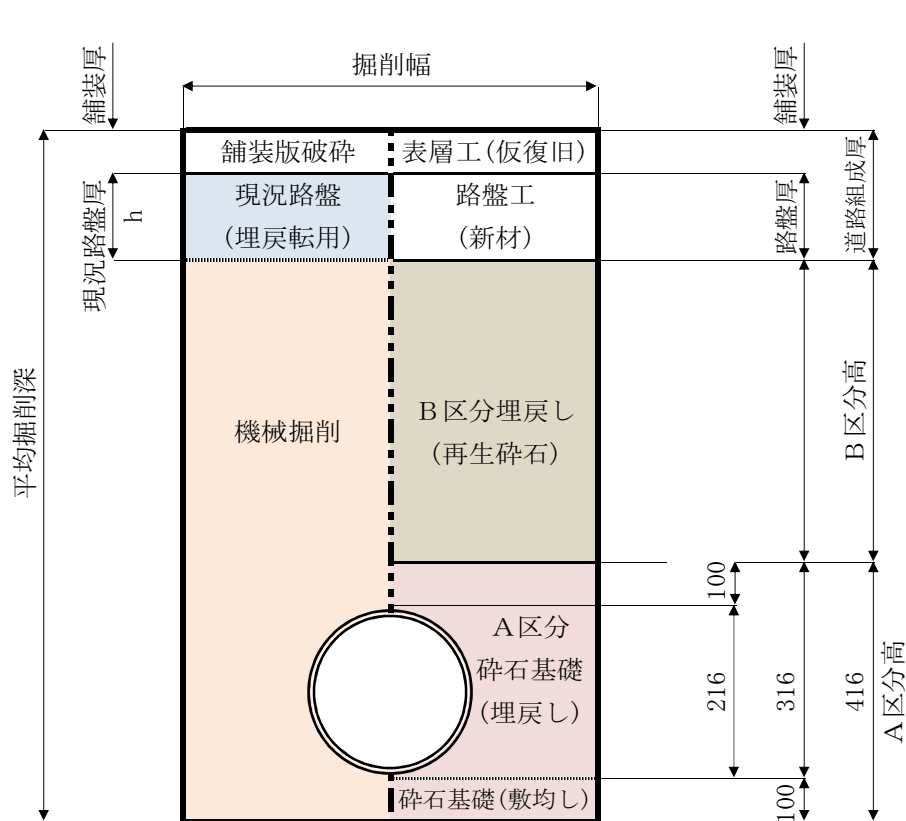
工 種	算 出 根 拠	定 数 値
機械掘削	= 掘削幅 × (平均掘削深－舗装厚) × 掘削延長	
発生路盤材量	= 掘削幅 × 既存路盤厚 × 掘削延長	
B区分埋戻 (全体)	= 掘削幅 × B区分高 × 掘削延長	
(路盤材転用)	発生路盤材全体量	
(新材 再生切込砕石)	B区分全体埋戻量－B区分路盤材転用量	
発生土処理	= 掘削土量－発生路盤材埋戻量×1.11	
(掘削土)	受入地処分(4 tダンプ 仮置運搬・10 tダンプ 処理運搬)	
(発生路盤)	施工現場仮置き・即日転用	

内径200mm管渠撤去工調書 (HP φ 200)									
管断面 0.051m ² /m									
路 線 番 号	単位	定数値	492						合 計
測 点			No.492-2						
撤 去 延 長	m		3.50						3.50
掘削減長	上流 下流	m							
掘 削 延 長	m		3.50						3.50
人孔種別	上流 下流								
管体減長	上流 下流	m m							
管 体 延 長	m		3.50						3.50
管 材 料 (HP)	本	4.0 m/本	—						
基礎減長	上流 下流	m m							
基 礎 延 長	m		3.50						3.50
道 路 形 態			一般市道						
掘 削 深	上流 下流	m m	1.004 1.004						
平 均 掘 削 深	m		1.004						
掘 削 幅	m		0.80						
舗 装 厚	m		0.05						
路 盤 厚	m		0.40						
道 路 復 旧 厚	m		0.45						
掘	平積 0.20m ³	m ³	2.49						2.49
削									
発生路盤材量 (基礎・埋戻し転用)	m ³		1.12						1.12
管基礎	管基礎 敷均し(管下部)	m ³	—						
	埋戻し(管周り)	m ³	—						
埋	B区分(全 体)								
戻	平積 0.20m ³	m ³	1.55						1.55
残	ダンプ運搬 4tダンプ(仮置)	m ³	BH0.20m ³ 掘削	2.49					2.49
土									
土 留 工	素 堀 工	m	1.5m未満	3.50					3.50
	アルミ矢板 L=2.0m, 1段梁	m	2.0m以下						
	L=2.5m, 1段梁	m	〃						
	L=2.5m, 2段梁	m	2.5m以下						
	L=3.0m, 2段梁	m	〃						
	L=3.0m, 2段梁	m	3.0m以下						
	L=3.5m, 2段梁	m	〃						

雑排水管仮設工 (VU φ 200)

[illegible]

土工定規図 (VUφ200)



掘削幅

掘削深1.5m以上

1000 mm

アルミ矢板土留

掘削深1.5m未満

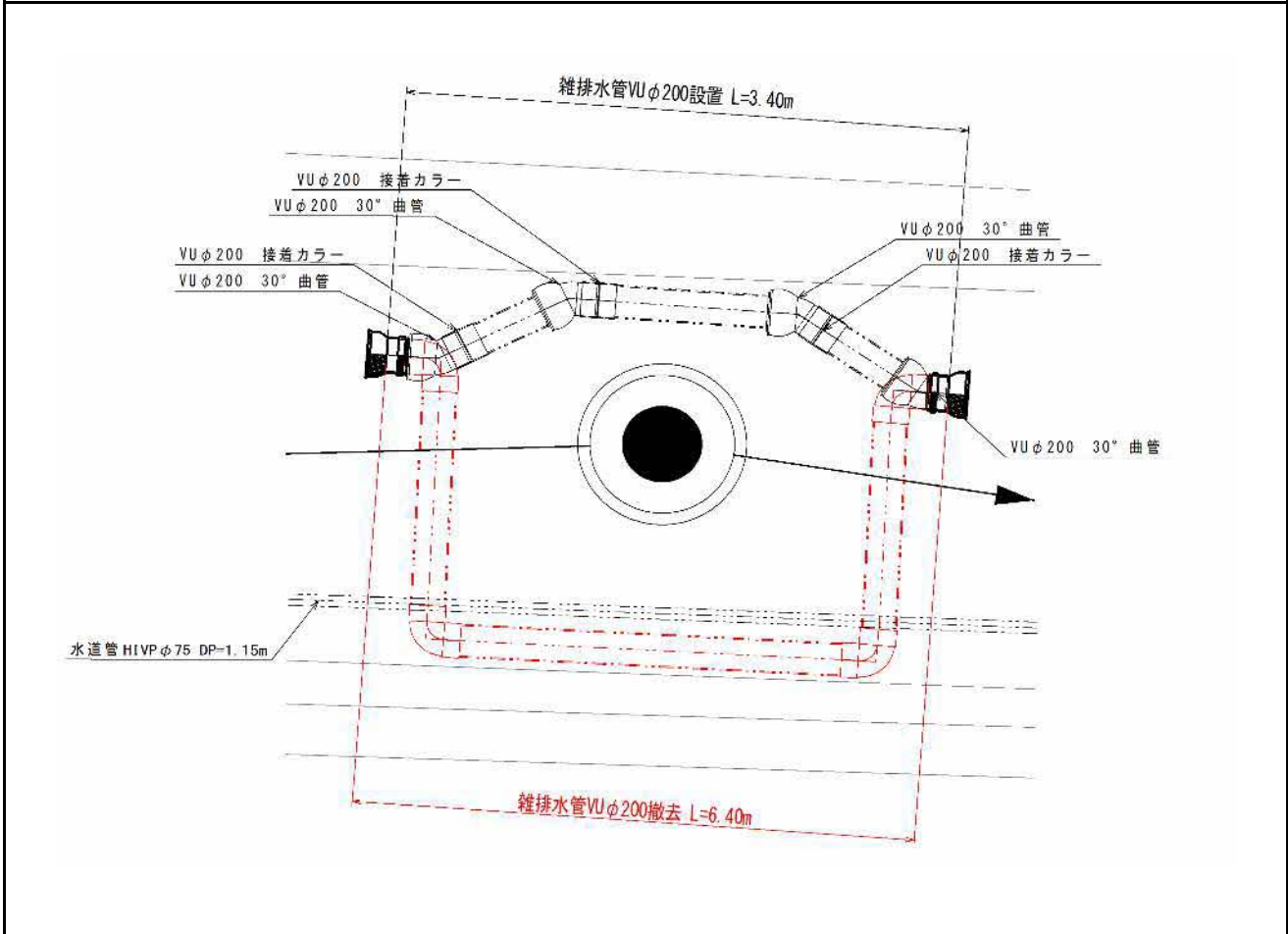
800 mm

素掘工

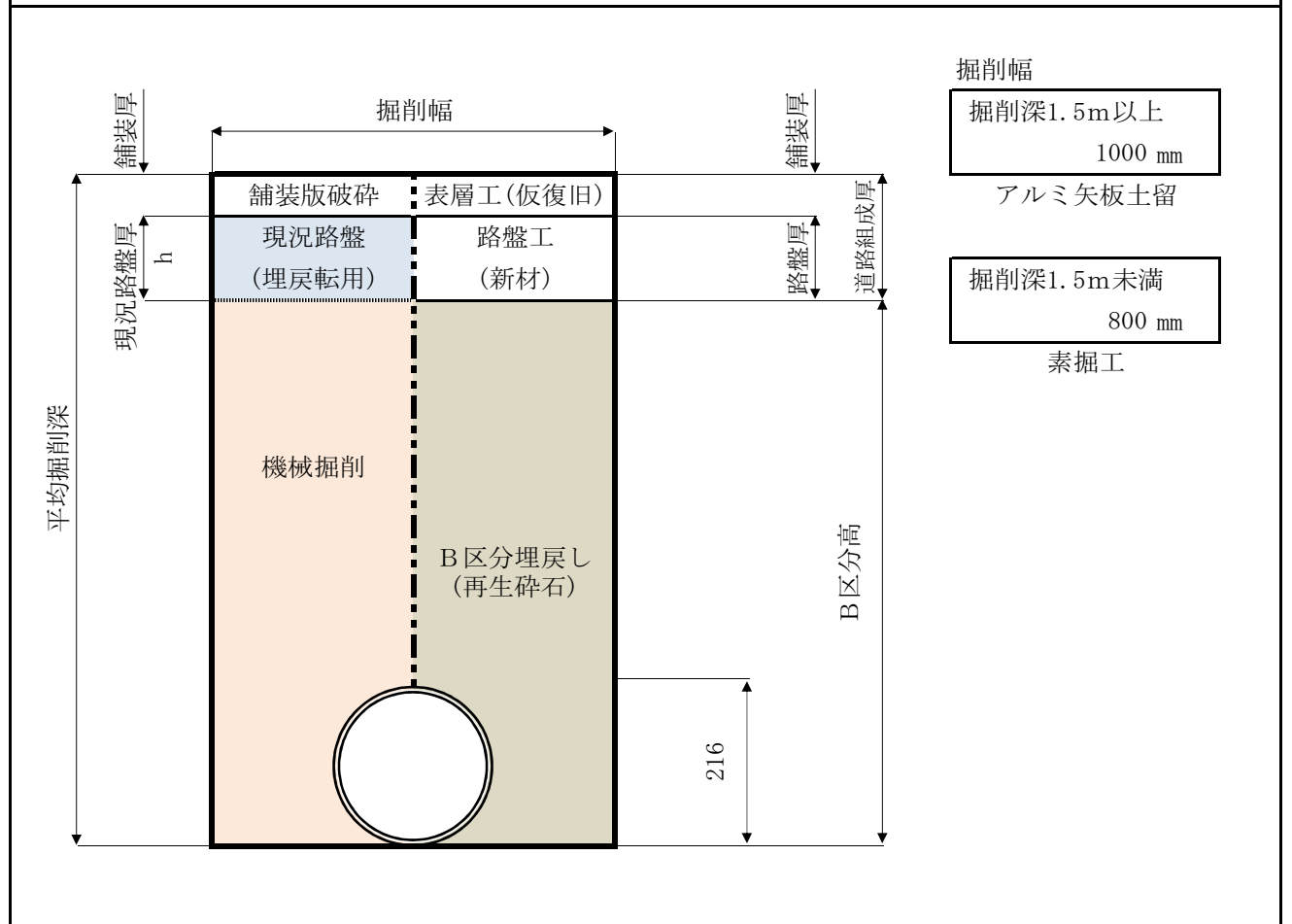
工 種	算 出 根 拠	定 数 値
機械掘削	$= \text{掘削幅} \times (\text{平均掘削深} - \text{舗装厚}) \times \text{掘削延長}$	
発生路盤材量	$= \text{掘削幅} \times \text{既存路盤厚} \times \text{掘削延長}$	基礎・埋戻材転用
碎石基礎(A区分) (路盤材転用)	$= (\text{掘削幅} \times \text{A区分高} - \text{管断面積}) \times \text{基礎延長}$	
敷均し	$= (\text{掘削幅} \times 0.100) \times \text{基礎延長}$	
	管断面積: $0.216^2 \times \pi / 4 = 0.037$	
埋戻し	$= (\text{掘削幅} \times 0.316 - 0.037) \times \text{基礎延長}$	
B区分埋戻 (全体)	$= \text{掘削幅} \times \text{B区分高} \times \text{掘削延長}$	
(路盤材転用)	発生路盤材全体量 - 基礎材使用量	
(新材 再生切込碎石)	B区分全体埋戻量 - B区分路盤材転用量	
発生土処理	$= \text{掘削土量} - \text{発生路盤材埋戻量} \times 1.11$	
(掘削土)	受入地処分(4tダンプ 仮置運搬・10tダンプ 処理運搬)	
(発生路盤)	施工現場仮置き・即日転用	

内径200mm管渠仮設工調書 (VU φ 200)									
								管断面 0.037m ² /m	
路 線 番 号	単位	定数値	492						合 計
測 点			No.492-2						
仮 設 延 長	m		6.40						6.40
掘削減長	上流 下流	m							
掘 削 延 長	m		6.40						6.40
人孔種別	上流 下流								
管体減長	上流 下流	m m							
管 体 延 長	m		6.40						6.40
管 材 料 (VU)	本	4.0 m/本	1.60						1.60
基礎減長	上流 下流	m m							
基 礎 延 長	m		6.40						6.40
道 路 形 態			一般市道						
掘 削 深	上流 下流	m m	1.104 1.104						
平 均 掘 削 深	m		1.104						
掘 削 幅	m		0.80						
舗 装 厚	m		0.05						
路 盤 厚	m		0.40						
道 路 復 旧 厚	m		0.45						
掘 削	平積 0.20m ³	m ³	5.40						5.40
発生路盤材量 (基礎・埋戻し転用)	m ³		2.05						2.05
管基礎	管基礎 敷均し(管下部)	m ³	0.100 基礎厚 0.51						0.51
埋 戻 し	埋戻し(管周り) B区分(全 体) 平積 0.20m ³	m ³ m ³	0.316 基礎厚 1.38 0.416 A区分高 1.22						1.38 1.22
残 土	ダンプ運搬 4tダンプ(仮置)	m ³	BH0.20m ³ 掘削 5.40						5.40
土 留 工	素 堀 工 アルミ矢板 L=2.0m, 1段梁	m m	1.5m未満 2.0m以下	6.40					6.40
	L=2.5m, 1段梁	m	〃						
	L=2.5m, 2段梁	m	2.5m以下						
	L=3.0m, 2段梁	m	〃						
	L=3.0m, 2段梁	m	3.0m以下						
	L=3.5m, 2段梁	m	〃						

雑排水管撤去工 (VU φ 200)

[illegible]

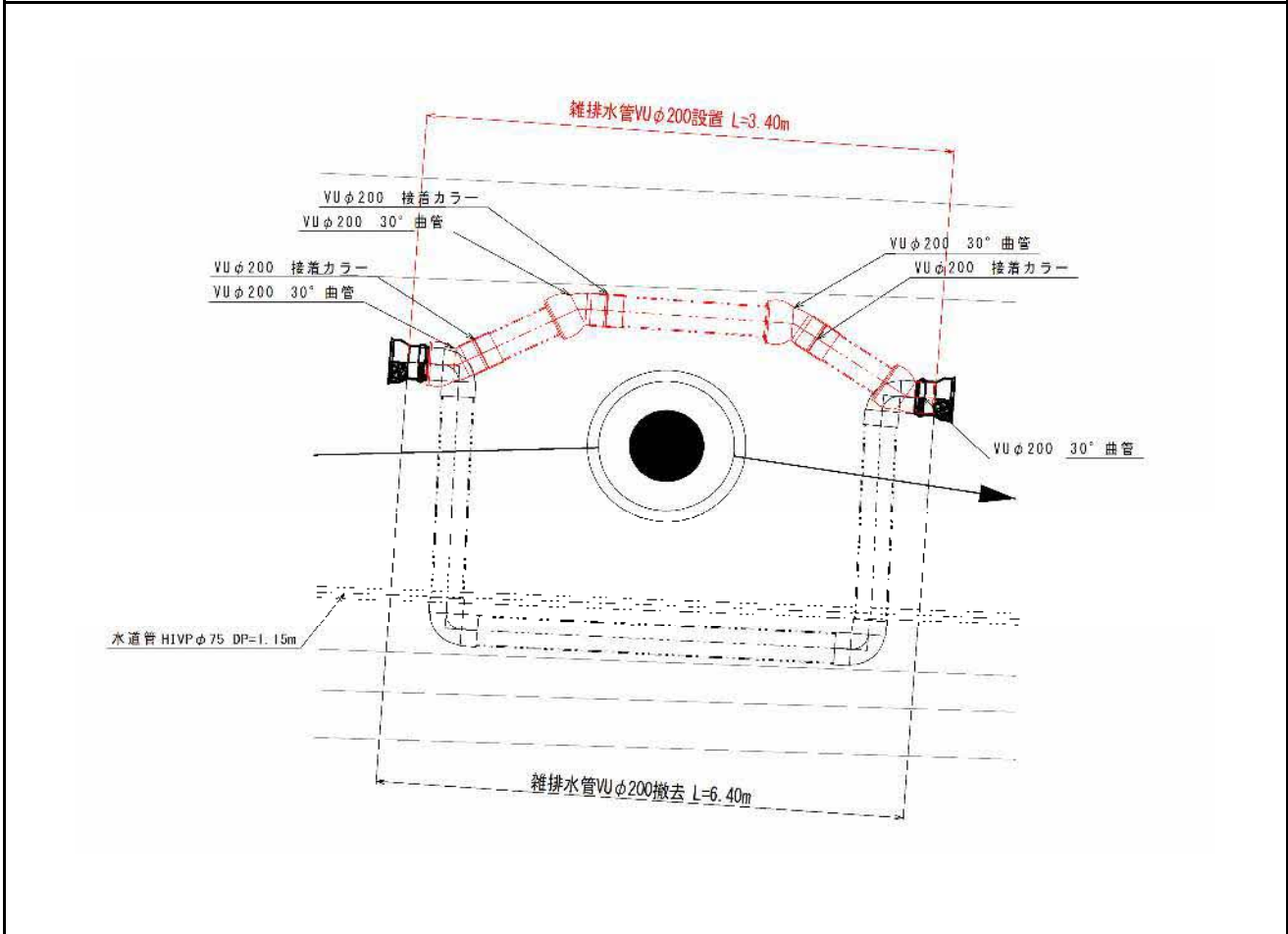
土工定規図 (VUφ200)



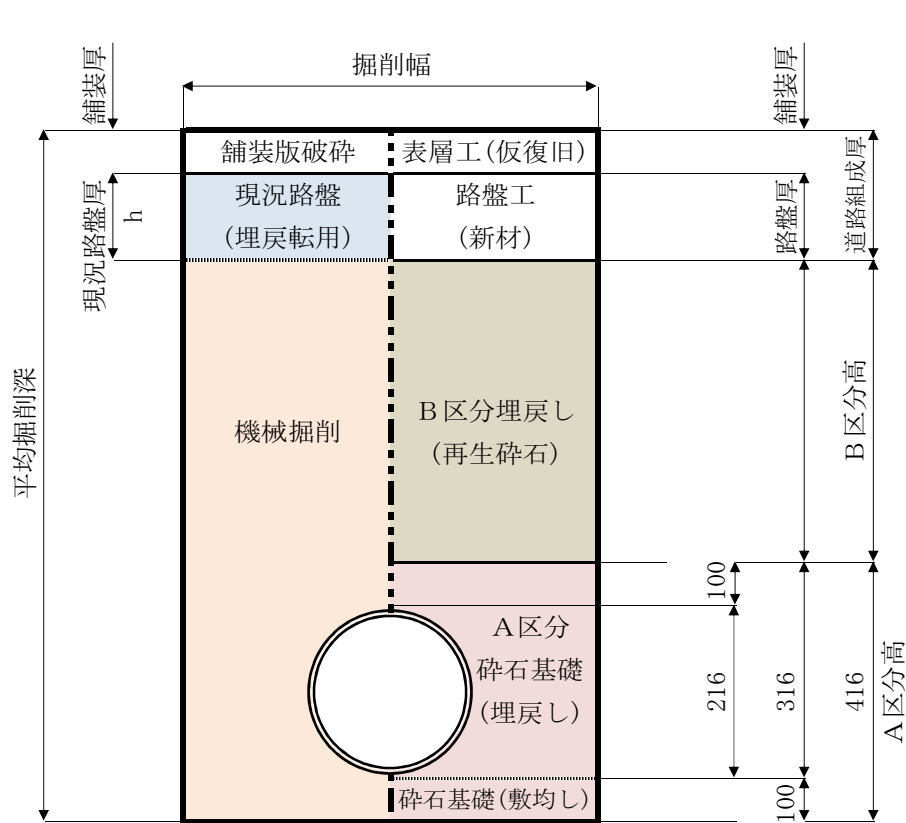
工 種	算 出 根 拠	定 数 値
機械掘削	= 掘削幅 × (平均掘削深－舗装厚) × 掘削延長	
発生路盤材量	= 掘削幅 × 既存路盤厚 × 掘削延長	
B区分埋戻 (全体)	= 掘削幅 × B区分高 × 掘削延長	
(路盤材転用)	発生路盤材全体量	
(新材 再生切込砕石)	B区分全体埋戻量－B区分路盤材転用量	
発生土処理	= 掘削土量－発生路盤材埋戻量×1.11	
(掘削土)	受入地処分(4 tダンプ 仮置運搬・10 tダンプ 処理運搬)	
(発生路盤)	施工現場仮置き・即日転用	

内径200mm管渠撤去工調書 (VU φ 200)									
管断面 0.037m ² /m									
路 線 番 号	単位	定数値	492						合 計
測 点			No.492-2						
撤 去 延 長	m		6.40						6.40
掘削減長	上流 下流	m							
掘 削 延 長	m		6.40						6.40
人孔種別	上流 下流								
管体減長	上流 下流	m m							
管 体 延 長	m		6.40						6.40
管 材 料 (VU)	本	4.0 m/本	—						
基礎減長	上流 下流	m m							
基 礎 延 長	m		6.40						6.40
道 路 形 態			一般市道						
掘 削 深	上流 下流	m m	0.966 0.966						
平 均 掘 削 深	m		0.966						
掘 削 幅	m		0.80						
舗 装 厚	m		0.05						
路 盤 厚	m		0.40						
道 路 復 旧 厚	m		0.45						
掘 削	平積 0.20m ³	m ³	4.45						4.45
発生路盤材量 (基礎・埋戻し転用)	m ³		2.05						2.05
管基礎	管基礎 敷均し(管下部)	m ³	—						
埋 戻	埋戻し(管周り)	m ³	—						
残 土	B区分(全 体) 平積 0.20m ³	m ³	2.64						2.64
ダンプ運搬 4tダンプ(仮置)	m ³	BH0.20m ³ 掘削	4.45						4.45
素 堀 工	m	1.5m未満	6.40						6.40
アルミ矢板 L=2.0m, 1段梁	m	2.0m以下							
L=2.5m, 1段梁	m	〃							
L=2.5m, 2段梁	m	2.5m以下							
L=3.0m, 2段梁	m	〃							
L=3.0m, 2段梁	m	3.0m以下							
L=3.5m, 2段梁	m	〃							

雑排水管布設工 (VU φ 200)

[illegible]

土工定規図 (VUφ200)



掘削幅

掘削深1.5m以上

1000 mm

アルミ矢板土留

掘削深1.5m未満

800 mm

素掘工

工 種	算 出 根 拠	定 数 値
機械掘削	$= \text{掘削幅} \times (\text{平均掘削深} - \text{舗装厚}) \times \text{掘削延長}$	
発生路盤材量	$= \text{掘削幅} \times \text{既存路盤厚} \times \text{掘削延長}$	基礎・埋戻材転用
碎石基礎(A区分) (路盤材転用)	$= (\text{掘削幅} \times \text{A区分高} - \text{管断面積}) \times \text{基礎延長}$	
敷均し	$= (\text{掘削幅} \times 0.100) \times \text{基礎延長}$	
	管断面積: $0.216^2 \times \pi / 4 = 0.037$	
埋戻し	$= (\text{掘削幅} \times 0.316 - 0.037) \times \text{基礎延長}$	
B区分埋戻 (全体)	$= \text{掘削幅} \times \text{B区分高} \times \text{掘削延長}$	
(路盤材転用)	発生路盤材全体量 - 基礎材使用量	
(新材 再生切込碎石)	B区分全体埋戻量 - B区分路盤材転用量	
発生土処理	$= \text{掘削土量} - \text{発生路盤材埋戻量} \times 1.11$	
(掘削土)	受入地処分(4tダンプ仮置運搬・10tダンプ処理運搬)	
(発生路盤)	施工現場仮置き・即日転用	

内径200mm管渠布設工調書 (VU φ 200)									
								管断面 0.037m ² /m	
路線番号	単位	定数値	492						合計
測点			No.492-2						
布設延長	m		3.40						3.40
掘削減長	上流 下流	m							
掘削延長	m		3.40						3.40
人孔種別	上流 下流								
管体減長	上流 下流	m m							
管体延長	m		3.40						3.40
管材料 (VU)	本	4.0 m/本	0.85						0.85
基礎減長	上流 下流	m m							
基礎延長	m		3.40						3.40
道路形態			一般市道						
掘削深	上流 下流	m m	1.104 1.104						
平均掘削深	m		1.104						
掘削幅	m		0.80						
舗装厚	m		0.05						
路盤厚	m		0.40						
道路復旧厚	m		0.45						
掘削	平積 0.20m ³	m ³	2.87						2.87
発生路盤材量 (基礎・埋戻し転用)	m ³		1.09						1.09
管基礎	管基礎 敷均し(管下部)	m ³	0.100 基礎厚 0.27						0.27
埋戻し	埋戻し(管周り) B区分(全体) 平積 0.20m ³	m ³	0.316 基礎厚 0.416 A区分高 0.65						0.73 0.65
残土	ダンプ運搬 4tダンプ(仮置)	m ³	BH0.20m ³ 掘削 2.87						2.87
土工	素堀工	m	1.5m未満 3.40						3.40
	アルミ矢板 L=2.0m, 1段梁	m	2.0m以下						
	L=2.5m, 1段梁	m	〃						
	L=2.5m, 2段梁	m	2.5m以下						
	L=3.0m, 2段梁	m	〃						
	L=3.0m, 2段梁	m	3.0m以下						
	L=3.5m, 2段梁	m	〃						

舗 装 復 旧 工 調 書										
路 線 番 号		単位	定数値	492	493	494	495			合 計
測 点						No.492-2 HPφ200 撤去工	No.492-2 VUφ200 仮設工	No.492-2 VUφ200 撤去工	No.492-2 VUφ200 布設工	
路 線 延 長		m		3.50	6.40	6.40	3.40			19.70
掘削減長		m								
上下流										
掘 削 延 長		m		3.50	6.40	6.40	3.40			19.70
道 路 形 態				一般市道	一般市道	一般市道	一般市道			
掘 削 幅		m		0.80	0.80	0.80	0.80			
舗 装 厚		m		0.05	0.05	0.05	0.05			
路 盤 厚		m		0.40	0.40	0.40	0.40			
道 路 復 旧 高		m		0.45	0.45	0.45	0.45			
発生土 復 旧 厚		m								
舗装切断	アスファルト 15cm以下	m		7.00	12.80	12.80	6.80			39.40
	35cm以下	m								
濁水処理	アスファルト t=5cm	m3	0.130 m3/100m	0.009	0.017	0.017	0.009			
	t=10cm	m3	0.240 m3/100m							0.052
舗装版破砕	アスファルト 15cm以下	m2		2.80	5.12	5.12	2.72			15.76
	40cm以下	m2								
敷運搬処理	アスファルト	m3		0.14	0.26	0.26	0.14			0.80
	コンクリート	m3								
道路復旧	砂利道		4							
	路盤-40cm	m2								
	一般市道		2							
	表層 As-5cm	m2		2.80	5.12	5.12	2.72			15.76
	路盤-40cm	m2		2.80	5.12	5.12	2.72			15.76